

神奈川県立鎌倉高校同窓会会報

あしお

第 35 号

特集 話題の人



鎌倉高校からの江ノ島

夕鐘 “テスト週間の放課後誰も残っていない校舎に響くチャイムの音”

丸山晶子（昭和63年卒業）

## 目 次

会長ご挨拶 .....	3	「鎌高」での高校3年間の思い出 .....	22
この一年間（校長） .....	4	鎌高のたたら製鉄 .....	23
特集：話題の人「相原園彦」 .....	5	鎌高卒、優れたアーティスト .....	27
私のお店紹介 .....	10	部活動報告 .....	32
わくわく キッズ コンサート .....	12	大学別合格者数 .....	40
同窓会・クラス会 .....	14	会計報告 .....	41
古稀の会、開催事前案内 .....	18	協賛金納入者 .....	42
在職中の鎌高の思い出 .....	19	総会案内 .....	46
職員人事異動 .....	19	役員名簿 .....	47
中村好太郎 遺作展 .....	20	編集後記 .....	47

題字：増田隆子（旧姓／小島 昭和 41 年卒業）

表紙：作者略歴

## 丸山晶子【まるやま あきこ】（昭和 63 年卒業）

神奈川県藤沢市出身 藤沢市在住

小さな頃から絵を描くことが大好きで水彩画、油彩画、パステル画を趣味で描き続けてきた。その後京都で染織を学び、型染めや藍染めを中心に制作。

自ら名付けた“型絵染画”とは型染めの技法を取り入れつつ、彩色では単に色を染めるというよりは描くという絵画的な表現方法を使っている。湘南の四季の風景を主に制作。

2008 年 鷗沼桜が岡にアトリエ兼ギャラリー“あとりえ梅庵”をたちあげ、個展やグループ展、イベント、ワークショップも企画開催している。



## 協賛のお願い

会長 鈴木勝貴

(昭和45年卒)



若葉に風薫る頃、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて2年後に90周年を迎える鎌校は卒業生約2万5千人をも排出しています。住所が判明していません約1万7千名に会報を送付していますが、その中で約1300人ほどの方から貴重な協賛金を頂戴しています。卒業生の入会金も含め約800万円の前算で運営をしている同窓会です。役員の皆様には、役員会等すべて手弁当で頑張っていただいています。

平成27年度は、部室等の修繕、体育館裏のランニングコース整備等に貴重な浄財を使用させて頂いていただきました。



伝統ある、そして愛する鎌校の90周年を迎えるに当たり、母校の発展を期して、更なる多くの同窓生の皆様からご厚意を頂戴したいものと願っています。かつての学舎を誇れるものにしてたく切にお願いをするものでございます。

そのような中、昭和45年卒の金澤明氏には、うしお会主催として第7回鎌倉高等学校剣道部選手権大会を3月19日に開催していただきました。賞状・トロフィ、参加者への記念品、手伝いに来られたOB等への礼金、参加者全員の昼食代など全て金澤氏の自費で賄われ、そして毎年うしお会へ多額の寄付を頂

戴しています。本当に頭が下がる思いです。ありがとうございます。

さて、現執行部も長期になりマンネリ化もしてきました。来年29年度は役員改選の年でありますので、新執行部に移行をしたいと考えています。来年の総会に新役員を承認いただき90周年に向けた活動を進められるよう準備をしたいと考えています。

同窓生で元鎌校教師として、また野球部顧問として活躍されました渡邊晃さん(昭和47年卒)が同窓会事務局を応援していただくこととなりました。

鎌校教師時代には、同窓会名



簿の管理から会報の発行までを手がけていましたので同窓会として百人力を得たものと喜んでます。

今後皆様方のご協力を賜りながら会の発展に臨んでいく所存でございます。

結びに当たり、鎌校と同窓会うしお会の発展のため皆様方の御協賛を再度お願い申し上げます。そして会員皆様方のご多幸を心からお祈りし挨拶いたします。



## この一年間

校長 眞壁 広道



同窓会の皆様方には日ごろから様々な形で、お世話になっております。まず

最初に感謝を申し上げます。

この一年間の学校の様子について、お知らせしたいと思えます。

まず、学校の施設関係です。同窓会のご支援により、部室棟の修理を行っていただきペンキが塗られ、海側の部室がきれいになりました。また、草に覆われていたかつてのバレーボールコートですが、藤沢養護学校の分教室の生徒の皆さんの協力も仰ぎながら、同窓会のご尽力できれいに整備され、小さなグラウンドとして使用できるようになるとともに、山沿いに小道を

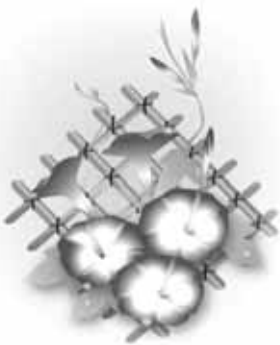
整備し、体育館の裏側まで走るコースをつくっていただきました。この一年間のなかでは、すでに耐震性の問題で使われなくなっていた旧C棟の除却工事が行われました。この教室で学んだ皆様には寂しく感じられることもあるかと思いますが、半年かけて校舎が取り除かれ、整地されました。北側の崖が直接むき出しになり、広い空間ができました。鎌高祭のステージになる中庭の桜が池といぶきの木とともに真ん中に残っています。併せて、老朽化したプールのスタンドの除去も行われました。そのようなことで学校の景観が多少変化いたしました。県立高校で二番目に大きな敷地を所有し、四季折々に素晴らしい景色を見せてくれる自然に恵まれた環境はそのままです。鎌倉高校を一目見たいと訪れ、つい学校に迷い込んでくる外国人の観光客の数が増えたことから、安全

のためということでは校門を常時閉じておくことにいたしました。校門を使う頻度が高くなつて、校門の修理をしなければならなくなったことも付け加えておきます。なお、今年度については、半年かけて体育館の耐震工事が予定されております。

今年度から始まる、より質の高い教育を目指す県立高校改革のなかで、教育委員会より学力向上進学重点校のエントリール校、グローバル教育研究推進校の二つの指定を受けました。いずれも本校がこれまで取り組んできた土台の上に立つての指定です。日ごろの真摯な学習活動、九割ほどの生徒が加入し生き生きと自主的に行う部活動、「かまくら学」を通じての探求と発表、合唱コンクールと鎌高祭を通じての生徒同士の交流、オーストリアとの国際交流。こうしたことを生かしながら、必要に応じて新たな取り組みを導

入しながらさらに磨きをかけていく取組みを進めてまいりたいと考えています。本校に対する人気は高く、昨年度の学校説明会では、開催するたびにこれまでに以上に広範な地域から大勢の中学生と保護者が来校しました。説明のなかで、生徒会長が「青春偏差値日本一」という言葉を使い、充実した高校生活を紹介していました。大きな可能性を秘めた生徒たちを、できるだけ大きく伸ばしたいと考えています。

今年度もどうぞよろしくお願ひします。



## 特集

|| 話題の卒業生 ||

江島神社宮司

## 相原 圀彦

## 竜宮城のような門

今回は、江島神社の宮司をさ  
れていきます相原圀彦氏にスポッ  
トを当てました。

江島神社及び江ノ島の歴史を  
熱く語ってもらいました。

聞き手…S41年卒 森田豊文



— 今日はお忙しいところどうもありがとうございます。うしおの編集をしています森田と申します。相原さんは私の二期上の39年卒ですね。私は41年卒です。

相原 そうですか、宜しくお願  
いします。

— 私が入学した時に、相原さん  
はちょうど三年生。一番怖  
かった時ですね(笑)

相原 鎌高に怖い人はいなかつ  
たですよ(笑)

— 応援団の人に色々厳しくや  
られて。ところで、担任の先生  
はどなたでしたか?

相原 担任は、英語の今井先生  
でしたけど。

— 私は、今井先生には英語を  
習っていないですね。私は稲垣  
先生でした。

担任は二年三年が神川先生で  
した。一年が漢文の中島先生  
でした。

相原さんの時も二年三年は一緒  
でしたか?

相原 ずっと今井先生でしたね。  
— ああ、そうなんですか。と

ところで、最近鎌高に行かれま  
したか?

相原 最近は何も行っていないで  
すね。

— かなり校舎も古くなって壊  
したりしています。

相原 そうみたいです。

— あと体育館も新しく建てた  
りして。多少うしお会で援助し  
て、部室もやつと綺麗になりま  
した。

相原 それは何よりです。

— とところで、部活は何かされ  
ていましたか?

相原 部活は、ほとんどやって  
ないと同然ですね。

— 相原 笑

相原 中学の時には、三年間  
テニスをやっていましたけれ  
ど…。

— そうですか、中学はどちら  
ですか?

相原 私は片瀬小学校、片瀬中  
学です。

— あ、片瀬中学ですか。  
相原 鎌高の生活もみんな穏や  
かな人ばかりで、授業中ちよう  
ど外を見ますと海が見えるし。

— 相原 笑

相原 海を眺めながら授業聞い  
ていました。自然の環境が良  
すぎましたね。

— (笑)

相原 畑っていうか、隅っこ  
の方に豚小屋みたいなのがあり  
ましたね。

— ええ、ありました。

相原 そんな印象をまだ覚えて  
いますね。

— 校舎の奥の方に国際会議  
ホールが出来たんです。

相原 それは知りませんでした。

— あそこは確か、テニスコート  
場かなんかだったと思いますね。  
では、もっぱら鎌高三年間は勉  
学に励んで…

相原 いや、そんなことはない  
ですよ、反省しています。

— 相原 笑

相原 もうのどかなもので。  
ちようど私は片瀬ですから、駅  
は湘南海岸公園駅で、江ノ電で  
一本ですけどね。だから藤沢と

か茅ヶ崎とか鎌倉の方もそう  
でしょうけれども、そちらから  
通ってくる人達は、まあ他の学

校の学生とも、藤沢駅辺りですれ違ったりする機会が多かったと思いますけど、それが全くなかったですからね。

— ああそうですか。

**相原** 特に藤沢駅へ出てワイワイ遊ぶとか、そういうこともしませんでしたから。だからなんかのんびり過ごしてしまっただっていいか。そういう感じですね、いや刺激がないと、そういう意味では競争心がないとダメですね。

— **相原** 笑

ところで、江島神社の仕事は、その時は全然まだ関係なかったのですか？

**相原** ええ、私の家が、代々社家として仕え、片瀬諏訪神社は私で 36 代、江島神社は 11 代目の宮司に当たります。

— あ、そうなんですか。

**相原** それで私も家職を継ぐ事となりました。

— ところで、宮司と神主の区別がよく分らないです。(笑)

**相原** 色んな言い方がありませんね。

— 同じようなことなのですか？

**相原** 宮司というのは、大きい、小さい神社がありますけれども、一社に一人宮司がいるわけです。

— そうですか。

**相原** その宮司は、会社でいえば代表役員になるわけですけど。まあ神主さんという一般的な宮司も含めて、色々階位があります。諸々ひつくるめて神主神職とか、神主さんとは。

— ああそうですか、では高校出てから即そちらへ…。

**相原** 高校出まして、国学院大学の史学科に入りました。卒業後、神職の資格を取得しなければいけないのですから。大学を出まして、神道学専攻科に一年通いまして、それで資格を取り、神職の道へ入りました。

— そうですか。

**相原** 最初は、鎌倉の鶴岡八幡宮です。足掛け 12 年ですね。

— それで父も年を取りましたものですか、こちらの江島神社の方に。

— あ、そうなんですか。

**相原** 自宅は片瀬にありまして、片瀬の私の実家のすぐ近くに諏訪神社という…

— ありますね、神社が。

**相原** そこも兼務しておりました、そちらの方が昔から長いですね。代々ずっと続いていきますけど。この江島神社の場合は、昔は明治 6 年までは、神仏習合だったのです。お坊さんもいれば神主さんもいる。

— あ、そうなんですか。

**相原** 明治 6 年になりまして、神仏分離ということで神様と仏様が分かれたわけですね。ですから明治 6 年から江島神社という名称となりました。それまでは違った名称だったのです。金亀山与願寺とか江島寺の名称でした。

— あの、江の島の「の」が付いてないです

ね。あれは、付かなくても江島神社を「えのしま神社」と言うのですか？

**相原** 江島神社で「えのしま神社」が正しい読み方ですね。

— そうなんですか。

**相原** 地名は「の」が入りますけどね。

神社名は「江島神社」で「えのしまじんじゃ」です。ですから「の」ではないですが、

鎌倉でも「鶴岡八幡宮」と書いて「つるがおか はちまんぐう」が正しい呼び名です。

— なるほど、そうなんですか。ところで、江島神社は 552 年、欽明天皇の勅命で岩屋に宮を建てたのが始まりですね。

**相原** そうです。ですからもう千四百五十数年。

— す、い、それからずっと代々、相原さんに繋がっているわけですか。

**相原** ええ、それまでは色々お坊さんですとか、そういう方がずっとやっていますね。

— じゃあ相当古いですね。

**相原** そうですね。

— それでは、昔の古文書みたいな物がいっぱいあるのではありませんか？

**相原** いやあ、それがなかなかね、残っている物はありますね。

れども、結局先ほど申しましたように神仏分離がありましたから、それで大分無くなつてしまつたんです。

— ああそうですか。

**相原** ええ、当時は境内にも仏教的な建物が、小さいながらもいくつもあつたのですが、そういうものが全部取り壊されてしまつたものだから。

— 勿体ないですね。大学生活は？

**相原** そうですね。昭和39年鎌高卒業で、4月に大学に入ってその年に東京オリンピックがありましたよね。

— ええ。

**相原** 大学一年は、遊んでいるようなものだから。

— **相原** 笑

**相原** 10月でしたね、東京オリンピックが。江ノ島がヨット会場になりました、よくあの岸壁に行つて、外国のいろんな選手がヨットの練習をしているのをずっと見ていましたね。これはいいスポーツだと思つて。それまでヨットというのは、あま

り知らなかつたわけですが、これは素晴らしいスポーツだなと。それからやりたくなりまして。大学に入つてからヨット部に入ろうと思つたら、ヨット部なんか気の利いたのはないんですよ（笑）

— そうなんですか。

**相原** 仕方が無いので、友達4、5人集めまして「ヨットやろうよ」という感じで、アルバイトをしてヨットを買いました、二人乗りの小さなものですが。それで始めましてね。

— その当時は、江ノ島のヨットハーバーで：

**相原** いや、最初ヨットハーバーは、もういっぱい入れなくて、葉山で。あそこは高いですけどね、ましてや学生ですからね、小遣いも（笑）アルバイトでなんとかやりくりして。江ノ島が空いたものだから。こちらへ移つたんです。そういう事ばかりやっていました。（笑）

— じゃあ今スポーツはヨット、まだヨットやられているんですか？

**相原** いやと言う程やりましたから。（笑）それでまあ、遊びでテニスを、昔やっていましたから、少しやりましたけど。少しは運動しなければいけないのですけれども。（笑）

犬を飼っていた時は、しょっちゅう歩いていました。大型犬だったので、いい運動になったのですから。いなくなったもの

— ところで、今日も江ノ島は人でいっぱいですね。

**相原** えゝ多いですね。

— 外国人の方もいっぱいいましたね。

**相原** 最近が多いですね。

— 大体この様な感じで、毎日忙しいんじゃないですか？

**相原** 年を重ねる毎に忙しくなる感じです。

— 今は諏訪神社とも兼務されているのですか？

**相原** はい。

— それは大変ですね。

**相原** もう一社、西鎌倉にあるんですけれども、そこも兼務していますね。

— じゃあ、曜日毎に行つたりしているんですか？

**相原** 行事のある時はまいります。

— もう休む暇なんかないんでしょうね。

**相原** なかなかないですね、決まつてないんですよ。慣れましてけれど、

— **相原** 笑

**相原** ただ、外へ出る機会も結構あるものだから、まあ会合があつたり、大体お昼で終わつたりする場合がありますけれども、そういう時は午後休みにしてしましますけど。半日の休みというのは、休みにならないですね。（笑）休んだ気がしないです。

— **相原** 笑

— ところで、江ノ島の灯台が綺麗になつて、あのイルミネーションを見に何回か行きましたね。

**相原** そうですか。

— 灯台の下にある庭のイルミネーションも綺麗ですね。

**相原** そうですね。関東三大イ

ルミネーションに選ばれていま  
す。

―あれはびつくりしました。  
やはり凄いですね。あの灯台も  
遠くから見ると綺麗ですよ。

相原 そうですね。最初は  
ちよつと違和感がありましたけ  
ど、逆三角形で。(笑)

あの灯台を建て替える時に発掘  
をしたんです。発掘の調査があ  
りましてね。そうしたら、縄文  
時代の住居跡ですとかね。そ  
れで今、土器とか鍬(やじり)  
とか、そういうものが出土され  
てきて。鍬(やじり)の先に黒  
曜石が付いています、江ノ島  
には黒曜石はないんですよ。で  
すから西の方から移住して来た  
民族が持つて来たんじゃないか  
なと思うんですけどね。

―あ、そうなんですか。

相原 それで、発掘していた時  
に何回か見に行ったのですけ  
ど、ものすごい風の強い日だっ  
たんです。その発掘現場にい  
ますとね、もの凄い強い風なの  
かなと思うと、そうではなく  
て。普通横から風が来ますけ

ど、江ノ島の場合はぶつかって  
下から吹き上がって来るので、  
そのの所は穏やかな風のない、  
まあ無風状態というところば  
りですけど、そういう感じだっ  
たんです。ですから、縄文時代  
に住居をここに構えた、そうい  
う縄文人の知識を思い知った感  
じでした。

―昔は江ノ島まで歩いて行け  
たんでしょね。

相原 ええ、引き潮の時には  
歩いて行けたんでしょうけれ  
ども。昔はまあ小さい島です  
けども、原生林に覆われている  
ようなそういう感じでした。

―そうですね。

相原 道なき道を洞窟の方まで  
行ったという、そういう感じで  
しょね。

ですから、あの東日本の津波が  
ありましたけど、台風が近づい  
てくる時に洞窟の方に行きまし  
てね。波の凄さですかね、押し  
寄せてまた引いていく、あれは  
もう凄いパワーですね。

―波のエネルギーですかね。

相原 エネルギーというかです

ね、岩場にこう鉄骨が何本も  
あつたんですけども、もうそれ  
も抜けてしまいますからね。

―そんなに凄いですか。

相原 釘をさして、前後に動か  
しているのと抜けますよ。そう  
いう作用が加わるんじゃないで  
すかね、自然の力の偉大さって  
いうのを思い知らされた感じで  
すよ。

―あの洞窟でも多分昔からこ  
う浸食して…

相原 そうですね。海蝕洞窟で  
すからね。

―相原 笑

―話しを運動に戻しますが、  
たまにテニスをやる位ですか？

相原 いやあ、暇があまり無い  
ので。

―そうですね。

相原 もう腰が痛かったりし  
て、整体に行ったりしているく  
らいですから。(笑)

―じゃあ旅行に行くとか。

相原 そうですね、仲間の会合  
ですとかね、そういうのが全国  
あちらこちらでありますので。  
―そういうのがあるんですか。

神社関係の、なるほど…。

相原 ですから家内と一緒に旅  
行するとか、2人でというのは  
殆どないですね。今まで結婚し  
てから…

―仕事一筋で。

―相原 笑

相原 結局、旅行をするにして  
も、神社は365日無休ですか  
ら、留守番で人を置いておかな  
いと駄目ですからね。ですから  
出られないんです。

―では、多分長期の旅行はも  
う到底無理ですね。

―相原 笑

―何かこれからの夢みたいなの  
ものはありますか？

相原 いや、夢ですか？

―又は、やりたい事とか。

相原 そうですね、うちの場合  
は三社、お社の建物があるんで  
すけれども、

―ありますね。

相原 大きいのが、もう江戸時  
代の建物ですとか、年数が経っ  
ているものばかりですから。結  
局、維持管理していくのが大変  
なのです。ですから、ちよつと



修繕しても、また数年後には修復を加えなければいけないとか、そういう事がずっと続きまして、やっと改築、修復もなんとか一段落。境内入口に竜宮城のような門がありますよね。

— ええありますね。

**相原** 昭和61年、あの時はまだ私の父が宮司だったのですけれども、その頃帰って来まして、江ノ島の場合は土産物屋さんを通りずつと上がって行きまして、鳥居があるんですけど、上を見ても森だけで、神社があるのかなのか分からないような感じだったのです。ここに何か、例えば修学旅行で鎌倉行きますと、長谷の大仏さんとか、それから八幡様の大銀杏ですとか、小学校の時に行った遠足を大人になっても覚えていると思うんですよね。で江ノ島に来て、まあ島はあったというのは記憶に残るでしょうけど、それ以外に何かないかなと思って。海に囲まれた神社ですから、竜宮城のような門が相応しいのではないかという事で、新たに造

営致しました。

— あ、そうなんですか。東日本大震災の時は如何でしたか？

**相原** この前の地震の時は揺れましたね。いや、どうなるのかなと。

— だいぶ揺れました？

**相原** 揺れましたね。大きな木などはもうガサガサガサ。。

— 私は家にいましたけど、そんなに気がつかなかったですね。

**相原** ああ。ところがかなり揺れている時間が長かったですけど。すぐ境内へ出て、結構、観光客がいました。

歩いている人は意外と分からないものですね。外へ出て、それでもまだ横揺れがしてしまっただけ。気持ち悪くなるような、そんな感じでした。

— あ、そうですね。

**相原** あれ程の大震災になるとは思っても致しませんでした。。

— そろそろ終わる時間ですので、最後にこれからも出来るだけ時間を取って、のんびりと。。

**相原** そうですね。自然体に遇うしてまいります。

— どうも、今日は色々お時間を取っていただき、ありがとうございます。これからもお体に気を付けて頑張ってください。

**相原** 態々お出かけいただき有難うございました。今後共宜しくお願いいたします。

## 「プロフィール」

### 相原 園彦

昭和21年1月18日

藤沢市片瀬にて出生

片瀬小学校、片瀬中学校

卒業

昭和39年3月

神奈川県立鎌倉高校卒業

昭和43年3月

國學院大学文学部史学科

卒業

昭和44年3月

國學院大学神道学専攻科

卒業

昭和44年4月

鶴岡八幡宮奉職

昭和56年2月

江島神社権宮司

昭和62年6月

江島神社宮司 兼ねて諏訪

神社 龍口明神宮社司就任

平成16年4月

神奈川県神社庁副庁長就任

平成17年4月

神奈川県宗教連盟理事長

就任

平成19年8月

同理事長として県知事親書を

を持参しローマ法王に謁見

平成22年3月

神奈川県神社庁協議会議長

就任

現在

社団法人藤沢市観光協会理

事 社団福祉法人上村鶴生

会評議員 國學院大学 皇

學館大学協議員 等に就任

# 私のお店紹介

## 良質な嗜好の時の提供を目指して

27回生 (S51年卒)

叢 秀樹

「オーい、叢、次号のお店紹介頼むな」鈴木同窓会会長会からの天の声で今回の投稿が決まりました。今から28年前家業継承の為、勤め先を退社し、右も左も分からない中、藤沢の青年経済人の集いに参加した際、



「お前さん、鎌高だろう？」と気さくに声をかけて下さったのが鈴木会長でした。以来公私に渡り面倒を見て頂いております。その他にも多くの鎌高出身の諸先輩にご厚情を賜り続け、現在に至っています。ありがとうございました。

さて、私の店は現在皆様にも懐かしい、「古久家」でお馴染みの駅前ダイヤモンドビル1階、地下にてお茶と煙草販売を生業として営業を続けております。もともとこの駅前にて五代に渡って茶業を営んでおり、戦中立地の関係から煙草の配給業務を受け賜り、今に至っております。家業継承の年に、日本たばこ産業の民営化が始まり、専売制度下の規制開放の時流に乗れ、事業を拡大し続けることが出来ました。現在約800種類に及ぶ紙巻煙草、葉巻き、パイプ煙草、煙管等の他、各種喫煙具を取り揃え、扱い品目を誇る専門店として、湘南地区ナンバー1を目指し日々孤軍奮闘しております。煙草に関しての知



識の深掘りから、シガーマートルエの各種認定も受けるまでに成りました。

茶業の方も、静岡掛川、本山茶を中心に中国茶、健康茶を取り揃え、古くからのおなじみさん客や近隣の飲食店の方々からのご愛顧頂いております。

「自身の嗜好の時間を楽しみたい！」初心者の方から玄人志向の方々への為、色々な商品紹介、情報、ご相談に答えられる店を日々目指しております。

鎌倉高校では、多くの友人や個性溢れる先生方からたくさん「学び」を受け自我の目覚めに役立ちました。自分でもそれまで気づかなかった多くの面を見出すことが出来ました。自己の「個」を形成できたのはこの校風と仲間、恩師のお陰だと思います。今でも一年のクラスメイトの悪友たちとは、毎年欠かさず正月・お盆には交友を深めさせて頂いております。





最後になります。卒業してからも母校愛が強い皆様と共に「うしお」をさらに支えられる一助が出来ればと思います。有難う「鎌高!!」。

有限会社 立花屋

〒一五一一〇〇五五

神奈川県藤沢市南藤沢二一〇一三

ダイヤモンドビル

TEL: 〇四六六一二二一三三三

FAX: 〇四六六一二二一三三三

**うしお会では皆様の同窓会を応援します**

参加者100名を超えると思われる学年同窓会、または部活動OB・OG会の開催につきまして、応援金として20,000円、50名から100名の場合は10,000円を寄付致します。

幹事の方は、予め開催する旨、日時会場などをうしお会ホームページに掲載申し込みしてください。

尚、開催報告として数枚の写真とコメントを後日お送りください。ホームページまたは会誌「うしお」に掲載させていただきます。ご了承ください。

お申込み .....  
うしお会ホームページからメールフォームでお申し込みください。

受取方法 .....  
開催日前日までに幹事さんが来校していただきます。  
※また、名簿、会場（うしお会会員が経営する店舗）なども

ご案内することが可能ですので、ご相談ください。

**うしお会地方開催**

昨年の会報「うしお」の発行部数は、約17,000部でした。と言うことは、うしおの会員が全国に約17,000名いると言うことです。

当然の事ですが、年々会員は増えていきます。この中には、地方で生活をされている会員の方が多くおられます。同じ鎌高卒業生として、その地域でうしお会を育てて頂くこともできるのではないのでしょうか。うしお会事務局は、各地域での開催を応援いたします。同窓会開催計画を事務局に連絡頂き、打合せ後、事務局にて案内を送ります。個人情報に十分な注意をした対応をさせていただきます。まずはご相談を。

ベルフィーユ・アンサンブル



わくわく

# キッズコンサート Vol.6

2016 年 8 月 4 日 (木) 開演：午前の部 11:00 / 午後の部 14:00 ◆ 逗子文化プラザ さざなみホール

今年はいままでよりももっと身近にコンサートをお届け！  
音楽クイズや楽器紹介、ミニコンサートなど盛り沢山の一時。  
0 歳から大人まで、気軽に音楽に触れて下さい！



写真：2013 年公演より

ヴァイオリン：  
梅津美葉  
44 回生



ヴィオラ：  
安藤美佳  
41 回生



ハープ：  
安井弘子  
43 回生



ピアノ：  
宇治田かおる  
42 回生



フルート：  
加納敬三  
33 回生



ソプラノ：  
淵岡優子  
40 回生

編曲：久松義恭 42 回生 写真：糸川真木彦 39 回生 ロゴ：佐々木明日香 40 回生

\* 都合により出演者変更の場合もございます。

## ベルフィーユ・アンサンブル



2015.5 - わくわくキッズコンサート Vol.5  
朗読「おやゆび姫」と音楽

2015.1 - 大人のためのコンサート Vol.5  
北欧の風、名曲の愉しみ

2014.1 - 大人のためのコンサート Vol.4  
春を聴く、音を旅する - 名曲“春”と音で巡る世界の旅

2013.5 - わくわくキッズコンサート Vol.4  
朗読「ベチューニアのたからもの」と音楽

2013.1 - 大人のためのコンサート Vol.3  
「星の王子様」とフランス音楽

2012.5 - わくわくキッズコンサート Vol.3  
朗読「すみれおばあちゃんのひみつ」と音楽

2012.1 - 大人のためのコンサート Vol.2  
写真家 糸川真木彦氏の写真「人」と音楽

2011.6 - わくわくキッズコンサート Vol.2  
朗読「かわいいことりさん」と音楽

2010.12 - 大人のためのコンサート Vol.1  
クリスマス休戦「世界で一番の贈り物」と音楽

2010.6 - わくわくキッズコンサート Vol.1  
朗読「ふしぎなバイオリン」と音楽

《その他の活動》

小学校での音楽鑑賞会

チャリティーコンサート『祈り』シリーズ



クラリネット (2015 参加)  
西林亜希子  
48 回生



朗読 (2010~2015 参加)  
濱田典子 40 回生  
元フジテレビアナウンサー

鎌高生、OBOG の皆様  
お子様お孫様大歓迎!

ご来場をお待ちしております  
= ブログ =

<http://ameblo.jp/belle-feu>

= お問い合わせ =

Tel. 090-4927-6099

Fax 0466-36-1392

e-mail [bee\\_fee\\_eee@aol.jp](mailto:bee_fee_eee@aol.jp)

\* 入場料等についてはお問合せ下さい。

### 《キッズコンサート》

- ◎ 3才の息子は1部から3部、全て興味深く集中して聞いていました。
- ◎ 舞台の上も体験できて、親子ともども興奮! 楽しめました。
- ◎ 子供と一緒に演奏を楽しめる機会がなかなかないのでとても有難いです。生の音は感動しました。

### 《大人のためのコンサート》

- ◎ 音楽と映像を聴きながら各地を旅しているようで楽しめました。
- ◎ このようなコンサートを、各地ですて頂きたいと思いました。
- ◎ 色々な曲を聴くことができ、贅沢な気持ちになります。
- ◎ 鎌高卒業生として共有できるものがあり、有難く思います。

# 同窓会・クラス会を開催しています

## 1964年卒同窓会

15回生 (S39年卒)

幹事代表 植竹 晃

2015年 平成27年9月20日、鎌高を卒業（昭和39年）して以来、2度目の同学年会を実施しました。

今回は、年齢がすでに古希を迎えた人、まだ69歳の人を合わせて、なんと100名以上の方が出席され、まさに大盛会となりました！

卒業以来、52年の歳月が経ちましたが、初めて会った人、数十年ぶりに会えた人も多く暫くぶりの再会に話が弾み、皆さんとても喜んでおりました。

私たちが在校の頃は組替えが無く、3年間同じクラスでした。生徒数は300人でしたが、6クラスを担当された先生方も稲垣憲一先生を除いてす

に逝去され、またクラスメイトも多くの方が亡くなりました。謹んで哀悼の意を表します。

当日の朝は、鎌高の見学会も実施しましたが、学校側の親切な対応を頂き感謝しております。海をのぞむ懐かしい風景は今も変わりません。

会では、各クラス、一人ずつ自己紹介をして頂きましたが、こうして元気に同窓会に出席が出来ることは幸せな事だと思えます。全員で大きな声で鎌高の校歌を歌いました。また出席者全員の記念写真も良く撮れていて良かったです。

次回は、喜寿の77歳

を目標に同学年会を実施する予定です。皆さん、その時を目標に健康に留意し元気で過ごしていきたいとの事でした。



## 1989年卒同窓会

40回生 (H1年卒)

町野 英介

2015年7月19日、わたしたち1989年（平成元年）卒の学年同窓会を行いました。





集合場所はその懐かしい鎌高  
 でした。天候にも恵まれ潮の香  
 りのする「鎌高の夏」を思い出  
 しながらじっくり歩いてまわり  
 ました。



そこから江ノ電で移動。藤沢  
 「銀座アスター」にて同窓会本  
 番です。先生を含め180名も  
 の同窓生が会し会場のあちらこ  
 ちらで久しぶりの再会に歓声が  
 上がりました。

「あの人誰…？」とその変貌  
 ぶりに息を吞まれてしまう人  
 もいました。ほかでもない私で  
 すが。

次回は還暦でしょうか。いや  
 いやこんな楽しいならその前  
 にもう一回集まりますか。そん  
 な言葉で次回の再会を約束して  
 終会となりました。

## 2006年卒同窓会

18回生（S57年卒）

塩飽 圭亮

2016年3月20日に鎌倉ブ  
 リンスホテルで、2006年卒  
 業生は卒業10周年ということ  
 で、少し早い気もしながらカッ  
 チリと同窓会を行いました。

結婚した者、転職した者、研  
 究に勤しむ者、子育てする者、  
 仕事に邁進する者、28歳、まさ  
 に人生を全速力で進む仲間が  
 全国各地から、5名の恩師含む  
 115名が集まり、おかげさ  
 まで盛会で終えることができました。

二次会は藤沢の居酒屋で行  
 いましたがこちらも約60名の  
 参加。

改めて鎌倉高校の絆の深さを  
 再認識したのでした。



## アメリカンフットボール部 創部40周年

### 記念パーティー

33 回生 (S 57 年卒)

佐々 義也

昨年、鎌倉高校アメリカンフットボール部 FAKERS は創部 40 周年を迎えました。

私たち FAKERS は 5 年ごとに記念パーティーを開催し仲間たちと旧交を温め続けています。

今回の 40 周年記念パーティーは平成 27 年 7 月 20 日(月・祝)藤沢市民会館第一展示集会ホールを会場として開催されました。今回は 1989 年(平成元年)の関東大会で唯一公立高校が初優勝したチームのメンバーが幹事となり記念式典を企画しました。

最近では現役部員数が少ないため OB から現役選手へ「人数は少ないけどもガンバレ」と熱いメッセージを伝えたいために

テーマは「つなぐ」としました。当日の司会は当時の関東大会で最優秀ライン賞を受賞した吉岡さんとマネージャーとして活躍した現鎌倉市議会議員で元アナウンサーの永田まりなさんの両名で進行されました。

第一部ではまず、部の顧問として 9 年目を迎える宮田先生からお言葉をいただき、現役選手、マネージャーの紹介、主将挨拶、コーチ陣の紹介・挨拶、とプログラムは続き、幹事が連日徹夜で編集した 40 周年記念ビデオを参加した現役高校生と OB & OG、現役選手の父母、OB & OG の父母で鑑賞しました。

ビデオを見て涙する者も多数おり、会場の全員を感動の渦に巻き込みました。

その後は、グラビア等で活躍されているプロカメラマンの任田氏(99 年卒)が集合写真を撮影しました。

最後は OB & OG が花道を

作って、現役選手を拍手とハイ・ファイブ(握手のハイタッチ版)で送り出して終了しました。

第二部は援会長の乾杯の挨拶で始まり、今回初めてお越し頂けた創設期メンバーの紹介が行われました。

40 年前の練習場所の話では、現在の国際理解ホール前の雑草だらけの空き地で練習されていた苦労話を伺いました。また、大学や社会人チームで現在活躍中の OB たちが紹介され、部の活動を支えてもらったマネージャーたちの「FAKERS 40 周年マネコレ映像」が上映され大盛況でした。

今回も 25 名の OB マネージャーのみなさまにご参加いただきました。

最後は町野ヘッドコーチの挨拶、そして中村監督の挨拶で終了となりました。

総勢 260 名の参加者で盛大な記念式典でした。

鎌倉高校アメリカンフット

ボール部のニックネームは FAKERS (フエイカーズ) です。辞書には詐欺師とも書かれていてヘルメットのマークにもなっています。

かつては、強大な大学附属高校チームに対して真っ向からの力勝負を挑んでも分が悪い小さなチームであった鎌倉高校は、パワーやスピードで劣っている点を、代わりに、ボールを持つていないのに持っていると思わせるような細かいプレーを丁寧に、大切にやり続ける事と、入念にプレーの準備する事で補助とするしかできませんでした。

ブロッカーの付いていない場所に相手選手を引き付けるためにボールを持たずに飛び込む鎌倉高校のフェイクバックは最後までボールを持った振りをし続ける真摯な FAKERS である事を信条としていました。

FAKER プレーのように、時として報われる事が少なくても、



小さな事でも、フィールドの上では常にひたむきにプレーし、決して手を抜かない気持ちで忘れないように、でもそんな気持ちと相手を悟られない詐欺師のようにと FAKERS といつか呼ばれるようになりました。

## 鎌倉高校

### アメリカンフットボール部 40周年に寄せて

40周年記念ビデオ編集者コピライターの90年卒マネージャー岡林(旧姓・宇田津)ちひろさんが編集したビデオが秀逸でそのコピーも素敵だったので寄稿します。

1975年 鎌倉高校。

このグラウンドで、数人の1、2年生がアメリカンフットボールを始めた。  
FAKERS。  
それから40年。

多くの戦績とプレーヤーを生み出し、今なお、こうして部が存続しているのは、僕らが全員で FAKERS 魂をつないできたから。

FAKERS 40th それは僕らにとつて、かけがえのない誇り。しかし、その道のりはけつして平坦ではなかった。

1985年 FAKERS は創部10年目にして、関東大会へ初出場する。

そして1989年春。悲願の関東初優勝。

公立高校による関東制覇は、当時も、今に至っても、鎌倉高校だけ。

大いなる栄誉だ。しかし、2000年。FAKERS は存続の危機を経験することになる。

部員数3年生1人、2年生12人、1年生1人、3学年あわせて試合ができるギリギリの人数。ほぼ全員が、両面を強いられた。勝敗以前に、試合出場が精一杯

だった。

そんな時代を乗り越えたから、FAKERS は、その火を消さずに済んだのだ。

多くの公立高校が、部員不足に悩み廃部や、合同チームでの存続を選ぶ中、神奈川の公立高校で、公式戦に単独出場し続けているのも、また鎌倉高校だけ。

公立高校の部活動の実情は厳しい。

どんなに強いチームを作っても、1年たてば、メンバーの半数近くが入れ替わる。

強くあり続けるのは、至難の技だ。

大切なのは、栄光に執着することではない。

何度でも、一から這い上がる

こと。栄光も、どん底も、経験している僕らだからいえる。

FAKERS 魂。何度でも、一から這い上がれる

強さが、FAKERS の誇りなのだ。あの坂道を上ると、見え

てくる。

このグラウンドに立ったことがある者なら、わかるだろう。

初めは誰もが初心者だった。うまくいかないことばかりだった。

無我夢中でぶつかつた。少しづつ、アメフトの面白さがわかつてきた。

仲間と、夢を語りあつた。

暑い日も、寒い日も、雨の日も、走り回つた。気が付いたら、真剣になつていた。

勝利に歓喜した日もあつた。思い切りうちのめされた日もあつた。

どんな時も、情熱と愛情を注いでくれた人がいた。

いつも遠くから見守ってくれた人がいた。

信頼に応えたいと思うようになった。

プレッシャーに押し潰されそうな時もあつた。

仲間の大切さを心から感じた。一番近くで支えてくれる、仲間。

ケガに悩まされて、チームのサ

ポートに徹する仲間。  
 ライバルとして切磋琢磨しあえる仲間。  
 共に栄光をつかんだ仲間。  
 共に、一から這い上がった仲間。  
 FAKERSに出会えたからそんな仲間たちに出会えた。  
 どんなトロフィーよりもこの仲間たちが僕らの宝だ。  
 誰もが同じ想いをしたのではないだろうか。  
 40年前のメンバーも、いま現役のメンバーも。  
 きっと誰もが同じ、熱い想いを経験している。  
 だから僕らは時を超えて同じ思いでつながり合える。  
 あの坂を上ると見えてくる、このグラウンドはぼくらの原点。いままでも。  
 これからも。  
 FAKERSそれは、僕らをつなぐもの。  
 そして僕らがつないでいくもの。



鎌倉高校S40年卒業  
 “古稀の会”開催事前案内

今年(昭和40年)卒業生(16回生)が古稀を迎えます。

そこで、懐かしい仲間と再会し思い出話で楽しい一時を過ごす機会を今秋に開催する事を計画中です。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

日時

平成28年10月22日(土)

13:00 ~ 16:00

場所

藤沢商工会館(ミナパーク)

詳細は9月頃案内状を送付致します。

各クラス幹事

31組(金指隆先生)

小原芳行、増田隆之、

森川雅光、城之尾礼子

32組(稲垣隆先生)

石山 晃、鎌田郁子

33組(四ツ谷新一先生)

後藤田昌男、鷹 幸子、

清水早苗

34組(矢部正先生)

北岡崇宏、小山直彦

35組(金田平先生)

上山真照、進藤圭子、

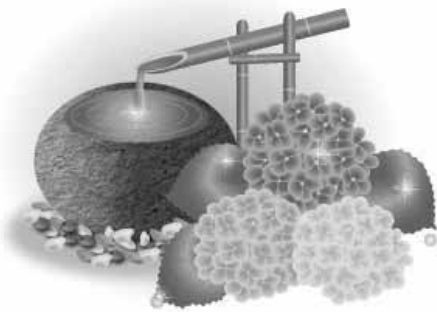
武井和子

36組(石井寿雄先生)

公平伸夫、近藤とし江

37組(山本正治先生)

水津啓子



### 在職中の鎌高の思い出

## 鎌倉高校の思い出

中田 圭介 (元保健体育科)

平成 19 年から 9 年間お世話になりました。日頃からの卒業生の皆様の多大なるご支援とご協力感謝しております。

初めて門をくぐったとき、進学と部活動、鎌高祭を生徒が自主的に活動して、全て満喫する余裕を感じ、学園ドラマの一場面をみているような感動を覚えました。

しかし、ここ 2、3 年は素直でまじめな生徒は増えましたが、教員に指導される前に積極的にリーダーシップをとって動く生徒が減ってきているように感じます。

進学重点校として上位大学を目指し学習することは当たり前で、部活動や行事を楽しむ余裕

がないように感じます。

鎌倉高校の古きよき伝統は、冒頭に述べた、他校からうらやまれるような恵まれた自然環境の中で生徒と先生がおおらかに学校生活を楽しむ姿ではないでしょうか。

剣道部では毎年 3 月に鈴木会長にも参加していただき部内選手権を行っております。ご協力感謝しています。お蔭様で 4 年前に関東大会に出場させていただきました。

そのときの生徒は「先生、絶対に関東大会に行く」と常に言っていました。本気で望めば、この学校でも強豪校に十分対抗できると感じました。つまりわれわれ教員や卒業生が生徒達に上限を設けずに高い意識を持たせることだと思いました。

今後の鎌倉高校の発展を期待し、影ながら応援していきたいと思えます。

### 職員人事異動

○大変お世話になりました。

#### ❖ 退任者

関 口 育 美 (養護)

#### ❖ 離任者

岩 崎 幸 代 先生 (教頭) 緑園総合高校へ

矢 島 俊 也 先生 (保体) 水取沢高校へ

中 田 圭 介 先生 (保体) 大船高校へ

加賀美 浩一郎 先生 (国語) 横浜緑ヶ丘高校へ

小 口 映 雨 先生 (保体) 藤沢清流高校へ

飛 田 護 先生 (国語) 平塚湘風高校へ

和 泉 尚 先生 (社会) 秦野高校へ

田 中 栄 一 郎 先生 (国語) 希望ヶ丘高校へ

仲 嶺 初 美 先生 (英語) 湘南台中高校へ

○よろしくおねがいします。

#### ❖ 転入者

田 中 和 也 先生 (教頭) 平塚江南高校より

内 山 容 子 先生 (英語) 柏陽高校より

馬 場 達 朗 先生 (国語) 平塚江南高校より

前 田 有 子 先生 (国語) 栗田谷中高校より

宮 崎 裕 爾 先生 (国語) 湘南高校より

石 山 喜 章 先生 (社会) 大師高校より

細 江 美 郷 先生 (数学) 平塚工科高校より

積 田 侑 弥 先生 (数学) 平塚商業高校より

島 田 まり子 先生 (保体) 平塚商業高校より

良 田 直 優 先生 (保体) 横浜南陵高校より

高 橋 志 多 先生 (英語) 横浜創学館高校より

一 木 佐 季 子 先生 (英語) 星槎高校より

白 石 晶 子 先生 (養護) 厚木高校より

#### ❖ 新採用

守 屋 翔 平 先生 (国語)

福 田 友 彦 先生 (保体) 渡 邊 正 悟 先生 (英語)

# 「中村好太郎 遺作展」が行われました

11 回生 (S35 年卒)  
菊地 洋二

中村好太郎 (本名・弘太郎) と云っても今は知らない人が殆どでしょうが、鎌校に5年間在籍した男と聞けば思い出す方も居られるかと思えます。

昭和32年に入学した弘太郎は美術部と山岳部に所属し、山行に熱中するあまり高三になるべき筈が数学の単位を取れずに進級差し止めとなりました。

本来高2をもう一年経験するのが常識ですが彼は違います。時の校長城所先生にもう一度高1からやり直したいと直訴してそれが認められたのです。

かくして前代未聞の鎌高五年在籍の記録を作った訳ですが、早稲田の建築へ行くという当初の約束は見事に覆されて芸大の彫刻科に進んでしまい、それがあってか以後同様のケースはないと聞いています。

その中村が一昨年(5月末)

亡くなり、夫人から大船の鎌倉芸術館で遺作展をやるという話を聞いたのは昨年の2月になってからで、会期まであと2ヶ月半くらいしかない頃でした。

小学校(鎌倉市立小坂小学校)、中学校(同第二中学校)、高校とも同期で、また鎌高では美術部も一緒に絵の師匠も一緒の同門だったこともあって私も準備を手伝うことになりました。

芸大入学直後に入った山岳部の、三つ峠での登攀訓練で15メートル落下して一命をとりとめたとか、写生に赴いた西伊豆安良里港で浅蜷採りをしていたとか、武勇伝や逸話には困らない男でしたが、葉山町に作られたチェンブロックを具えた13坪のアトリエは重量物や雑物(漁労採集の道具類を含む)で雑然・混沌とした状態だし、住所録は古くて未整理だし、作品の選別や広報活動には大い

る困難が伴いました。唯我独尊、我が道を行った中村の面目躍如を感じた2ヶ月半でもありました。

準備段階で再認識したことの、一つに膨大な裸婦の素描を行っていたことがあります。アトリエから出て(発掘されて)きた21冊の古い画帖に、主にコンテで描かれた裸婦が1200点程、用紙の裏表に余すところなく、定着液も施さずに遺されていました。そのためお互いに色写りして鑑賞するには障害があります。つまり中村は鑑賞のための絵画として描いたのでなく、ひたすらデッサン力をつけるための鍛錬としてこれらの素描を行っていたということです。

これを発表するには練りゴムで可能な限り色写りしているところを消し、あらためて定着液をかける作業が必要でした。墨やインクで描かれたものを除

ても約1000点、これが一番時間を要した作業でした。

主に大船のアトリエ時代に描かれたのですが、20分間のポーズに合わせて一日4枚描いたとしても、1200枚を描くには300日を要することになります。大酒飲みでもあった弘太郎の知られざる努力家の一面を垣間みた気がしました。

労多くして会期短く、連休中の5月3日から5日のたった三日間の遺作展でしたが、準備のために日を追って協力して下さる方々が集まり、開いてみれば彫刻作品四十四点、油絵四点、素描二十点を展示する立派な展覧会となりました。

素描帖の陳列六冊に、弘太郎が遺した最大の作品である綾瀬市庁舎前に置かれている実物大の「高座豚のモニュマン」のブロンズ像制作過程も展示、幼少期からの各時代の写真パネルも花を添えて、往時を思い出して涙を浮かべる来客も居られました。

受付は同じ11回生の高島和

子(旧・太田)さん、豊嶋直子(旧・大木)さんが座って下さいました。二人とも中学と高校で一緒だったので手伝いたいと申し出られたのです。

僅かな期間の展覧会だったことと、懸念した広報活動が十分に行えなかったことで心配していたのですが、鎌高関係者を含めた300名を超える皆さんが来場され、展覧会嫌いで殆ど作品を発表してこなかった弘太郎も、戸惑いながら喜んでいただけではないかと思えます。

現役の鎌校生の皆さんには、中村好太郎という破天荒な彫刻家がいたことを知ってもらい、併せて綾瀬市庁舎前の「高座豚のモニユマン」を見学してもらえば嬉しく思います。

今その原寸大のモニユマンは、学校帰りの子供たちが馬乗り(豚乗り?)になって遊んだり、滑り台代わりに背中を滑り降りたりしていて、耳も鼻もプロンズの地が出てピカピカ光っています。



# 「鎌高」での高校3年間の思い出

9 回生 (S33年卒)

安藤 昌夫

私達の「公立高校」への進学は、現在の様に、いわゆる「入試」と言われる「試験」により、その結果で「希望校」への入学が決まるとの違い、当時「中学校」で全国一斉に行われた「通称「ア・テスト」と言われたテスト結果及び中学校側から高校側へ提出される「内申書」等により「合否」が決まった最後の学年だった。また当時は「学区制」があり、その当時私の一家は、「藤沢」に住んでおり「湘南・鎌倉学区」に所属していた。

その学区内には「東大」を初めとして「国立・公立大学」への「進学実績」があり、又歴史もある「湘南高校」、茅ヶ崎の旧東海道の道路沿いにある「茅ヶ崎高校」また同じ茅ヶ崎で少し内陸に入った場所に位置していた比較的新しい「茅ヶ崎北陵高校」それに私達が入学した「鎌倉七里ガ浜」と言う絶好

の環境に恵まれ、加えて男女がほぼ半々の「男女共学」の「鎌倉高校」があった。

そこでこの様な背景の中、中学の担任の先生やまわりの「人達」「親族」等とよく相談し、熟慮した結果、「伝統」「歴史」「社会評価」もあるとは言え無理して且つ、背伸びして、湘南高校へ進学して行くよりは、「総合的」に考えてより好ましいと思えた「鎌高」に決めた。

そして実際の「通学路」は辻堂駅から隣の「藤沢駅」に行き南口の（当時駅ビルはなかった）ロータリーの地上部分から「江ノ電」に乗るルートであった。周囲の風景も今と違い丘もあり緑も多かった。乗る事20分程で「鎌高前」駅に着き、日坂の坂を上って、左手の病院の建物を見て学校に着いた。

校舎は左側から木造モルタル造りの二階建ての建物、中央に平屋の「理科」生物」等の教室があり、右手少し高い所に体育

館があった。そして実際の授業のクラス編成は、1,2年は同じクラスでの持ち上がり、3年になると、科目の取り方によりクラスが変わって、私は確か同じ1組だったと記憶している。

またこの3年間で、生物の実習で日光中禅寺湖での早朝プラシクトンの標本を作った事、春はヤビツ峠へのハイキング、体育祭での「仮装行列」等懐かしい思い出である。また先生方も城所校長先生、生物の矢橋先生、漢文の松林先生、担任の金指先生、更に加えて、私の関係した一つの「エピソード」があり、それを今でも忘れられない。

それは、ある日の昼休み時間での出来事である。

その当時、男子学生は、帽子（学帽）を被っており、その日も2階に男子生徒が集まっていた。

その様な中で（今でもどうしてやったのか分からないが）私が冗談半分で傍にいた生徒の帽子を取り、階下に投げ落としし

た。するとまわりの生徒もそれにならって一斉にお互いの「帽子」を取り、下に投げ落とし始めた。すると、たまたま一階にいた普段真面目な石渡先生が、それこそ血相を変え、駆け上がってきて「誰がやった」と一喝、これを見て私は先生の前

に進み出て、実際は私自身が首謀者なのに、臆面もなく「私も帽子を投げられた被害者の一人です」と発言。すると、先生は私の日頃の「言動」等から「そうか」と一言。それに引きかえ、結局この件については、日頃悪戯好きで、いつも先生方から叱られたり、注意されたりしていた一人の生徒が首謀者と見做され、先生からこんこんとお説教。またその生徒も反論すれば良いのに、反論する事もなく黙って立って聞いていた。

あれから、ほぼ50年近くが過ぎたが、今でも当時の事を思い出す時、必ずこの事が私の脳裏を横切り、「自分と言う人間は、何と卑怯な情けない。偽善者の最たる者ではないか」との思いに悩まされる…。

# 鎌高のたたら製鉄

科学研究会 顧問

木浪 信之

私たちが科学研究会は発足して3年目になり、昨年度は11人の部員で鎌倉たたら製鉄の研究に取り組んできました。本研究は2011年に開始したのですが、科学研究会が発足する前は生徒が自由に参加できる科学系任意団体として活動していました。このように、生徒が自由に科学研究に取り組みながらも研究成果は毎年科学コンテストで発表し、表彰を受けていました。論文発表などの関係で、生徒会に所属する団体となる必要があり、新しく科学研究会が誕生しました。本研究会になってからは2年連続で神奈川県知事賞、さらに、鎌倉ユネスコ最優秀賞、昨年度は日本学生科学賞入選1等を受賞することができました。この結果について、部員たちの取り組みはもちろんです。同窓会の皆さまのご理解の賜物と思っています。昨年度の活動は研究費の不足により、

継続が困難となり、研究を断念せざるを得ない状況になりました。そのとき、同窓会から研究を支援していただき、継続することができました。本研究はその成果です。私の知る限り、過



第59回 日本学生科学賞中央表彰式 高等学校の部  
平成27年12月24日(木) 日本科学未来館 読売新聞社

去に日本学生科学賞入選1等を受賞した学校は神奈川県では本校が初めてです。私たちは、この受賞を「オール鎌高」の成果と思い、これからもよい研究に取り組んでいく所存です。この場を借りて、同窓会の皆さまにご報告するとともに、心より感謝申し上げます。

## 1. たたら製鉄とその歴史

たたら製鉄は大陸から伝搬した製鉄技術を日本独自に発展させた製鉄法です。具体的な方法は材料に砂鉄と木炭を用いて、鉄の融点(約1500℃)より低い1200~1300℃の低温で砂鉄を還元して鉄(鋼)を得る製鉄法です。化学的には、岩石成分(二酸化ケイ素)を含む砂鉄をたたら炉内で発生させた一酸化炭素や材料の木炭によって還元する工程を経て、不純物と純度の高い鉄に分離します。その結果、たたら炉内にできた不純物をノロ(鉄滓、スラグ)、純度の高い鉄の塊をケラ(鋸)と言います。両者は比重と融点が異なるため、半溶融状態のケラは完全に溶融したノ

ロの中に沈んだようになって炉内で分離していると考えられます。したがって、このときに炉底に穴を開ければ、溶けたノロは炉外に流れ出て、ケラを分離することができるのです。



ノロ出しによって炉内にケラが残るので、炉を解体すればケラを取り出すことができます。ケラの中でも特に品質の良いものを玉鋼(たまはがね)といいますが、これが日本刀の材料になるのです。

明治時代になって、海外から近代製鉄法が導入されましたが、たたら製鉄のように純度の高い鉄を得ることができないので、近代製鉄では日本刀をつ

ることはできません。近代製鉄法では鉄鉱石や石灰石、コークスを材料として使用し、高炉内を2000℃程度の高温にしてすべてを溶融させたあとに、転炉に移して不純物を取り除くという工程を経て鉄をつくるので、玉鋼のように鉄の純度を高められないのです。しかし、近代製鉄の高炉は停止することはなく、連続して稼働をするために効率に優れ、生産性は高く大量生産に適しており、コストも低いのが特徴です。それに対して、たたら製鉄では収率は悪く、さらに、ケラを取り出すために毎回たたら炉を壊さなければなりません。それでも、奥出雲地方では明治時代になっても操業を続けていましたが、大正時代になって、日本のたたら製鉄は完全に姿を消してしまいました。

代になった頃には全国で製鉄が行われるようになったことが遺跡調査で明らかになっています。製鉄技術が伝えられた頃は、原料には大陸と同じように鉄鉱石が使われていたのですが、日本は鉄鉱石をほとんど産出しないため、各地で採集できる砂鉄が使われるようになったと考えられています。このようにして、大陸から伝わった製鉄技術は各地の砂鉄を使うことにより、それぞれの地域で独自に発展し、日本独特のたたら製鉄ができあがったのです。後述しますが、各地で産出する砂鉄を使用したことで、古代鉄には各地域の差が残されているのです。

考えられていることはご存じのことと思います。近隣の横浜市栄区には深田製鉄遺跡があるほか、鍛冶ヶ谷（かじがや）や釜利谷（かまりや）のように、製鉄や鍛冶に関係した地名が残っていることから、鎌倉周辺でも鉄の需要とともに、製鉄が盛んに行われていたことが想像に難くありません。

たたら製鉄は衰退がはじまりました。その原因は諸説あり、はっきりしたことは分かっていませんが、江戸時代以降は、安定した生産が可能になった奥出雲を中心とした中国地方と東北地方の一部地域で操業されるだけで、他の地域のたたら製鉄は歴史から消えてしまいました。

## 2 研究の着想と研究目的

稲村ガ崎海岸は古くから砂鉄の産地として知られており、奈良時代以降の深田製鉄遺跡では、元素分析の結果からこの周辺の砂鉄を使った製鉄が行われていたと考えられています。また、鎌倉時代末期から南北朝時代にかけて、刀工正宗は鎌倉で相州伝（そうしゅうでん）を確立しました。現存する作品は国宝または重要文化財に指定されており、歴史に残る最も有名な刀工と評価されていますが、その作風は長く伝えられることなく途絶えてしまいました。このように、鎌倉は古代から優れた鉄を生産する歴史のある場所であったにもかかわらず、鎌倉たたら製鉄は衰退してしまっ



のです。良質の砂鉄を産出する稲村ガ崎海岸が目の前にあるのに、衰退した理由が私たちには理解できませんでした。そこで、2011年と2012年に京都大学にたたら炉をつくり、奥出雲砂鉄と鎌倉砂鉄を使って、たたら製鉄を同じ条件で実施してみたところ、30kgの奥出雲砂鉄からは純度の高い鉬が5.5kg得られたのですが、同じ30kgの鎌倉砂鉄からは1gのケラも得られませんでした。まったく鉄ができなかったのです。この結果が鎌倉たたら製鉄を研究する着想となり、私たちが研究が始まりました。鎌倉砂鉄から鉄が得られなかった原因を科学的に解明し、古代製鉄と同様の方法で鎌倉砂鉄から良質の鉄をつくり、古代製鉄法を再現することが科学研究会の研究目的となったのです。

たたら製鉄には大量の木炭と良質の砂鉄が必要です。そのため、木炭の調達が困難であったり、良質の砂鉄が得られない場合にはたたら製鉄は存続できません。鎌倉たたら製鉄衰退については、奥出雲地方の集約的な操業によって安定した国内生産量が確保されたことや、輸入する南蛮鉄の増加によって小規模操業だった各地のたたら製鉄と同様に衰退したと考えられています。しかし、京都大学での操業結果から、鎌倉たたら製鉄の衰退は鎌倉砂鉄自体にもその要因があるのではないかと考えるようになりました。

### 3. これまでの経緯と研究結果

2011年と2012年の操業で使用した砂鉄の元素分析(蛍光X線分析XRF)の結果、私たちの採集した砂鉄は選鉱が不十分なため岩石成分が多く鉄の含有量が奥出雲砂鉄に比べて少なかったのです。さらに、稲村ガ崎海岸の砂鉄はチタン含有量の多い赤目(あこめ)砂鉄、奥出雲の砂鉄はチタンの少ない真砂(まさ)砂鉄であることが分かりました。

真砂砂鉄は赤目砂鉄に比べて融点が高く、鉄を分離しやすい特徴がありますが、赤目砂鉄は融点が高いため、炉内温度の調整だけではケラとノロとの分離が困難なのです。そこで、2013年

の操業では奥出雲の砂鉄を超える鉄の含有量になるまで選鉱した砂鉄を使用したところ、得られたケラはひとつの塊にはならず、ゴルフボール程度の大きさにしかりませんでした。

断面を観察すると、不純物の中に鉄が点在または筋状に分布していました。砂鉄の密度や鉄の含有量は鎌倉砂鉄の方が奥出雲砂鉄より大きいのに鉄ができないということ、砂鉄自体に原因があるとした私たちの仮説が間違いないと確信したのはこの結果を得たときです。

再度、元素分析を行ったところ、両者の砂鉄に共通して含まれる元素は6種類ありました。鉄、ケイ素、チタン、カルシウム、バナジウム、そして酸素です。その他の元素は非常に微量で、検出されない場合もあったので、酸素を除く5種類の元素がケラの生成に関わっていると判断し、詳細に調べました。すると、両者の含有量が大きな違いがあるのはカルシウムとチタンであり、チタンについては既述のとおりでした。また、カルシウムの違いは、鎌倉砂鉄は海

から採集した砂鉄(浜砂鉄)であるのに対し、奥出雲砂鉄は山から採集した砂鉄(山砂鉄)であることによります。砂鉄選鉱ではチタンは除去できませんが、海水の影響によるカルシウムならば可能であると考え、十分な洗浄を行い奥出雲砂鉄と同程度まで低くした砂鉄を準備することにしました。



2014年はこれまでの結果を修正して操業したのですが、炉内温度測定用の熱電対による炉内温度制御が不十分でノロ出しがうまくできず、炉内でノロを固化させてしまい、ケラとの分離が不十分になってしまいました。しかし、取り出したケラ

の上部は非常に高い純度の鉄がまとまってできていたので、炉内温度制御がすっかりできれば十分に大きなケラができることを確信しました。

2015年の操業はこれまでの結果を活かし、万全の態勢で臨みました。砂鉄の選鉱も十分に行い、最後に30分間の熱湯洗浄も行いました。この熱湯洗浄は決して思い付きではなく、ある研究報告を参考にして行いました。さらに、炉の形状や温度制御など、これまでの操業結果を見直して、質の良いケラが得られるような設定を行ったのです。そして、私たちの予想したとおり、良質のケラを得ることができたのです。

砂鉄の種類を分類する根拠はチタン含有量で、5%以上を赤目砂鉄、それ以下を真砂鉄に分類します。稲村ガ崎で採集される鎌倉砂鉄には7〜8%が含まれていますが、奥出雲砂鉄には1%程度しかチタンが含まれていません。そのため、稲村ガ崎の砂鉄の中には磁石に吸着しにくい砂鉄が存在していたのです。また、チタンを含む赤目

砂鉄（チタン鉄鉱）は真砂鉄（磁鉄鉱）に比べて自らのチタンの分だけ密度が小さくなっていました。

これまで、赤目砂鉄からは高純度の鉄をつくることは困難と言われていましたが、私たちは高純度の鉄をつくることに成功しました。しかし、私たちの操業は熱電対やマルチメーター、そして、送風機などの現代の機器を使用し、炉内温度の制御を



徹底した結果です。古代製鉄は勘と経験に頼っていた困難な操業であり、その伝承は難しいことが想像できます。さらに、奥出雲地方での安定した生産と南蛮鉄の輸入、材料となる木炭の確保などが鎌倉たたら製鉄衰退の要因の一つではないかと考えるに至りました。

#### 4. 今後の研究課題

昨年度に得られたケラはひとつですが、ところどころに鬆（す）が入っています。今後の目的は、赤目砂鉄である鎌倉砂鉄を使った鎌倉たたら製鉄工程を確立するとともに、鬆のないケラをつくることを課題としています。

さらに、中世（慶長時代）になると、各地のたたら製鉄が衰退したために、国内を流通する鉄の品質が一定になったと言われています。そこで、慶長時代以前に建立された古代建造物に使用されている鉄釘などの分析を行い、その鉄に残されている微量元素から、

材料となった砂鉄の種類やその砂鉄の産地を辿る研究を行ってみたいと思います。それにより、古代人の交易や人の流入などを知ることができるとはなideしようか。

鎌倉の古代建造物に使用されている鉄釘が鎌倉の砂鉄を使っているのではなく、想像もしない別の地域の砂鉄からつくられていることが分かったら、この研究はどのように進んでいくのか考えるだけでも楽しみです。



## 『鎌高卒、優れたアーティスト』

## 画家・絵本作家 よしざわようこ

いくつもの転機を重ねて  
絵を描くことに

美術学校へ行っていない私  
が、なぜ百貨店で個展を開催し  
ていたかのようになったのか。  
僥倖ながらこの記事を書かせて  
いただくことになって自分の半  
生を振り返ってみました。

楽しいことも苦いことも  
経験した鎌高時代

「己に厳しく、他人に寛容であ  
れ」。1年生の担任だった藤  
定先生のこの一言は、ずっと私  
の心の片隅にあります。

2年、3年を担任してくだ  
さった堀田先生は大変失望させ  
てしまいました。優等生だった  
はずの私が、様々な人間関係を  
経験して、ちよつとワルに憧れ  
てしまったのです。と言っても  
鎌校のこと。たいして悪いこと  
はしていません(???)。「1  
年生のときはこんな子じゃな  
かったのにねえ！」そうおっ  
しゃった先生の残念そうなお顔  
が今でも目に浮かびます。

部活はテニス部。1年生は部  
活時間に打たせてもらえなかつ  
たので、一時限目が始まる前に  
1年生同士でストロークの練習  
をしました。だから10時にはお  
腹が空いて、その休み時間にお

弁当箱は空っぽに。そのあとの  
授業は「打倒睡魔」と大きく書  
いた下敷きの上で眠ってしまった  
こともしばしば。それでも好  
きだった英語と国語の勉強は頑  
張りました。



と授業中におっしやり、それ  
が私のことであることは皆すぐ  
に判ったので、とても困ったこ  
ともありました。ただ先生に一  
言！私の父が東京外国語大学  
の教授だと分かったとき、先生  
は「そうか、だから君は英語が  
できるのだね」とおっしやいま  
したね。でも父の専門は音声生  
理学で、私は父に一度も英語を  
教えてもらったことはないの  
ですよ！

さてさて三年生になり、受験  
校を決める時期になったときの  
ことです。英語と国語が好き  
だったため、私は漠然と英文科  
か国文科に進むものと考えてい  
ました。ところが他校の親友が  
美大受験のための研究所に通い  
始めました。子供の頃から絵を  
描くことが大好きだった私は、  
そんな選択肢もあったのだと気  
付き、夏休み前に堀田先生と家  
族に美大を受けたいと申し出ま



した。

「今頃何を言ってるの。美大受験にはデッサンが必要なの。あなたはデッサンをしていないでしょ。」「絵で食べていくのは大変。まずは英文科を出て、それでも絵がやりたかったら美大に行きなおせばいい。」

先生と家族にそう諭されて、青山学院大学の英米文学科へ進みました。(鎌高からはフェリス女学院に進み、翌年、青山学院を受験しなおすという一騒動がありました)が、ここでは割愛します。

英語か絵か、両方が好きだったとはいえ、この中途半端な選択が私の原点のようです。

### ■ 転機の始まり

青山学院には当時、国際学部が併設されており、アメリカと同等レベルの授業を受けることができました。ここで良い成績を取れば姉妹校に留学できる制度がありました。高校時代に、政府交換留学制度で留学し

ないかというお話をいただいたのに、高校までは日本で教育を受けなさいという親の反対で留学が叶わなかったので、大学では留学すると決めていましたから、学科の授業が終わると国際学部で勉強しました。

その甲斐あって、三年生に進学したとき、「貴女は政府奨学金留学生に推薦されました」との通知が！おつちよこちよいの私は、これで奨学金で留学できると早とちりして、父と一緒に手を取り合って喜んだのですが、この後に、日本中から推薦された学生の間で選考が行われたのです。全ての教科の成績にばらつきのある私は、もちろん落選しました。それでも両親が私費で留学させてくれました。

カリフォルニア州北部のストックトンにある姉妹校では男女共学の寮に。親元を離れて暮らすのも、海外で過ごすのも初めてだった私には大きな試練が待っていました。「君の英語は古いねえ。英語の先生は八十

歳のおじいちゃんだったのかい？」と言われてしまいうし、恥じらいが美德だった日本での価値観は通用しないし、先輩というだけで尊敬されるシステムもありません。カルチャーショックに打ちひしがれる私に、寮の隣室の住人であるアンが一冊の絵本をプレゼントしてくれました。今思えば、この絵本との出会いが**最初の転機**です。

十数年後に日本でも倉橋由美子さん翻訳の日本語版が出版されたシエル・シルヴァスタイン作「ぼくを探しに」です。丸い「ぼく」が、体の欠けた一部を探してと旅に出ます。一部が欠けているので上手く転がることができせんから、休み休み進んでいきます。途中、体の一部と思われるいろいろな形に出逢うのですが、どれも違います。最後に出会ったかけらは、「ぼく」の一部にぴったりと合いました。ところが、完全な丸になった「ぼく」は、ころころと転がり始め、休むことができ

なくなりました。空の色を見ることも、チョウチョと話をすることもできなくなってしまうのです。そこで「ぼく」は、そのかけらと別れて、元のようにゆっくりと進んでいくことにしたのです。

この絵本を読んで涙が止まりませんでした。絵本がこんなにも人の心を動かすなんて！このとき私は、絵本の翻訳家になるうと決意しました。それからは何回のあるごとにバスで一時間ほどのサンフランシスコに出かけ、大きな本屋さんで絵本を読みあさりました。留学を終えたときには大きな段ボール箱二つ分の絵本を日本に送りました。



英文科を卒業したからといっ

て、すぐに絵本の翻訳家になれるわけではありません。どうすれば良いのか分からなかった私は、仕事としての実務翻訳をする傍ら、絵本作りの教室や童話作りのカルチャースクールに通いました。そこで翻訳の前に絵本の構成や文章について学びました。そうするうちに自分でお話を書き、絵を描くことが楽しくなり、自分の絵本の創作を始めたのです。

大学卒業後3年目で、ある出版社の公募展で大賞をいただきました。その絵本が出版されました。「おおかみと七ひきのこやぎ」の絵本でした。

その後、実務翻訳の仕事が異常なほど忙しくなりました。睡眠時間が3〜4時間という日が半年間続き、「忙しい」という漢字は、心を亡くすと書くんだぞ」と言った友人の言葉を思い出しました。そこで心機一転、カリフォルニアの小学校で派遣教師として日本文化の紹介をして10ヶ月を過ごしました。その

小学校から、もう一年いてほしいと要請され、準備のために一旦帰国したのですが、ヒステリックなアメリカ大使館の女性職員に「独身女性にワークビザは出せない」と言われ、アメリカに戻れなくなっていました。これが**第二の転機**です。

アメリカに戻れなかった私は、実務翻訳の仕事はもう一年休むことを申し入れていましたから、東アフリカはケニヤの星野スクールで半年間アフリカについて学ぶことにしました。半年間の学生生活を終えたとき、ナイロビ在住のコーディネーターから、ナミビアで野生動物の撮影をしているテレビ取材班が通訳を探しているから行ってくれないかというお話が。子供るときから動物が大好きな私は快諾しました。

既に33歳になっていた私ですが、ナミビアでのテント生活が大いに楽しみました。朝6時に動物を探してキャンプを出るのですが、ハイエナ一頭見つから



ない日もあれば、ライオンの群に出くわす日もあります。朝、テントから出ると、周囲はゾウの足跡だらけです。間近に動物たちを見られて、動物たちの表情や仕草を私は心に描き留めました。動物園では見ることに叶わない貴重な経験でした。

撮影隊の滞在は3ヶ月の予定だったのですが、2ヶ月ぶりに家に電話すると、「父が危篤だから直ぐに帰っていらっしや

い」とのこと。当時はまだあまり知られていなかった拡張性心筋症のため、58歳で他界した父でした。残された家族はしばらくは何も手につきませんでした。それでも母には幼稚園の経営という仕事がありましたから、日常生活は動き始めました。私も実務翻訳と絵本の創作に戻りました。あとさき塾という、プロの絵本作家を目指す者たちの塾にも通いました。ただ、アフリカの水を飲んだ者はまたアフリカの地を踏むと言われている通り、その後も数回アフリカに行きました。

父がいなくなつて数年後、不思議なことに、父と何らかの関係がある出版社から次々と絵本のお話をいただいたのです。父が以前に仕事をしていた学研、外語大が所在する巣鴨にある福音館書店。後には、父が編集室を構えていた乃木坂にあった出版社。何冊か自分でお話を書き、絵を描かせていただきました。

それまでに旅をし滞在したアジア・アフリカの国々では、必ず本屋さんに行つてその国の絵本や昔話を探しました。ところが経済状況や子供の文化に対する考え方の違い、あるいは口承文学が主流であるがゆえに、絵本がない国がとて多かったです。あつても、とても粗野な紙のものでした。面白いお話や、ユニークな芸術があるのに、とても残念に思った私は、「この国のお話で、この国の絵描きさんで、絵本を作ろう!」

と思ひ立ちます。これが**三つめの転機**です。

さつそくタンザニアのダルエスサラームへ飛び、日本に一時帰国する海外協力隊員の家をお借りし、図書館へ通い詰めて絵本に向いたお話を探し出し、コピー機がないので手書きで写し、ティンガティンガ派の絵描きさんが集まる村に2ヶ月通つて原画を描いてもらいました。帰国前には、京大の霊長類研究所の研究者がチンパンジーを研

究しているマハレ山塊のキャンプにお邪魔させていただき、チンパンジーが私の足下をすり抜けて行くという貴重な体験もしました。

さて日本に帰つて出版社に売り込まなくては…と帰国の途についたのですが、成田に着いたとたん40度の高熱が。マリリア、それも死亡率の高い熱帯性マラリアを発症してしまつたのです。そして救急車で運ばれ、1ヶ月の入院生活を送る羽目に。おかげで、アフリカの絵本の出版は大いに遅れてしまいました。

タイのチェンマイにも2ヶ月滞在し、チェンマイ大学美術学科の講師にランナー王朝時代の画法で絵本の挿し絵を描いていただき、のちに素敵な絵本になりました。

**四つ目の転機**は、サンフランシスコに旅した時に。アートフェアで目にしたモノタイプという版画に一目惚れし、ぜひ習いたいと思つたのです。教えて

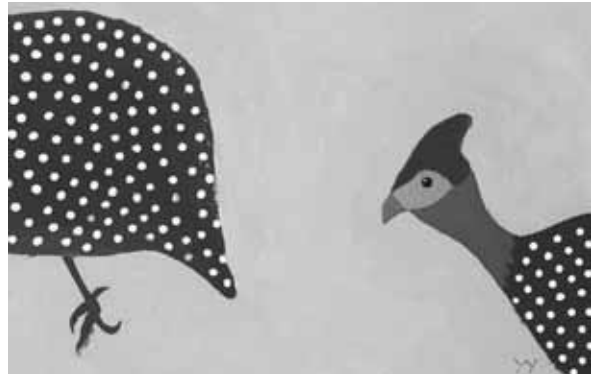
くれる学校を探したのですが、その頃の日本では見つけることができませんでした。すると、留学時代の親友、あの絵本をくれたアンが住んでいる町の美術学校にモノタイプのコースがあるというのです。その上、アンの家を客間を使って良いと申し出てくれました。彼女の言葉に甘えて三ヶ月間、モノタイプとコラグラフの版画技法を学びました。

帰国して版画工房の会員になつたのですが、主流である銅版画も始めました。自分の力の及ばぬ腐食という過程を経て刷り取る銅版画に魅了され、アフリカで出逢つた動物たちをモチーフに、次々と制作しました。海外展にも積極的に出品しました。

銅版画を始めて一年足らずの時に、工房の先生に勧められて鎌倉の小さな画廊で三人展をしました。ここで**五つ目の転機**。その時の作品を観た鎌校の同級生が、「渋谷東急で展覧会

をやつてあげる」と言つたのです。そう、彼は画商さんだったので。すると思いもよらぬ展開に。予想以上に売れてしまつたのです。すると数人の画商さんが声をかけてくださり、上野松坂屋、横浜三越、藤沢小田急などで個展をしてくれるようになりました。また、都内や地方の画廊でも個展を主催してくださるようになりました。数年は個展のための版画制作と絵本の制作に追われましたが、その間に結婚しました。

**最後の転機**が、高齢の母を置いて長時間を版画工房で過ごすことができなくなつた3年前です。「油絵なら家で描けるから、貴女も油絵にしたら?」と友人が言ってくれたのです。油彩画を始めたら、版画では使えなかつた色を自由に使えることが楽しく、家族が寝静まつたあと、未明まで夢中になつて描きました。描き始めたばかりの油彩画など個展に出品するつもりはなかつたのですが、画商さん



が出品を強く勧めてくださり、好評を得ました。それからは仙台三越、名古屋松坂屋、星ヶ丘三越、博多大丸などで、作品展を毎年のように開催していただいています。

美大をあきらめて英文科に進んだ私ですが、振り返れば多くの転機を重ねて原点に還ってきました。今、大好きな動物たちの絵を、素直な気持ちで大切に描かせていただいています。

## 「プロフィール」

よしざわ ようこ

(現姓 登那木葉子)

1955年10月29日生まれ  
東京都渋谷区で生まれすぐに鎌倉へ。御成小学校、御成中学校(2年生まで)、湘洋中学校卒業。鎌倉高校卒業後、青山学院大学文学部英米文学科へ。在学中に姉妹校 University of the Pacific (Stockton, California) に交換留学。フリーランスの翻訳者・通訳を経て、絵本作家・画家に。

主な著書に「おおかみと七ひきのこやぎ」(絵)(コーキ出版)、「いたずらビンバ」/「ノモノモおよく」/「やつぱりともだち」(学研月刊誌 プリン)、 「おおぐいひょうたん(再話)(福音館こどものとも)」、「最後のニホンオオカミときめき編」(挿絵)(KIBA Books 志茂田影樹著)、東京書籍中学2年英語教科書

イソップ物語挿絵、「サムリマめをとるかえす」(再話)(福音館こどものとも)、「こどものとも」年に向け折込み冊子にて、「せかいのどうぶつことわざリレー」を連載、朝日ウィークリーに「Animal Idioms & Sayings」を隔週で連載。

主な展覧会にCWAJ 版画展(第50回入選作品が米国議会図書館に收藏される)、Bitola 国際画ビエンナーレ、Sarajevo ミニプリント展、Cluj 国際版画トリエンナーレ、Varna 国際版画展、新横浜プリントメーカーズ国際版画交流展、イスタンブール国際版画ビエンナーレ、イタリア国際ミニプリントビエンナーレ、恵比寿 Galerie Malle、小田急百貨店、上野松坂屋、横浜三越、仙台三越、Atelier K、到津の森公園、東急百貨店 渋谷本店、名古屋三越、博多大丸

## 会報誌「うしお」 編集者からのお願い

年に一度発行しています会報誌「うしお」の戻りが約500部あります。これは事務局に登録されている住所が古い事に起因しています。また、住所が事務局に登録されていない為、会報誌「うしお」自体が届いていないケースもあります。

ここで、うしお会の皆様にお願があります。鎌高のクラス会や同窓会等に出席された時、一度会報誌「うしお」が届いているかを出席されている方々に確認して下さい。

もし届いていない方がおりましたら氏名、郵便番号、住所を書いてもらい、それを同窓会「うしお会」事務局までファックスを送って下さい。

皆さんのご協力をお願いします。

# 部活動報告

## ●●● 運動部 ●●●

### ■アメリカンフットボール部

私たちがアメリカンフットボール部は「挨拶」・「時間厳守」・「清掃」など誰でもできることを徹底して行うことを今年度の目標にしています。また日頃支えていただいている保護者・コーチ・先生方に感謝をし、自分たちがやりたいことを不自由なく行えることを当たり前だと思わず精進します。鎌倉高校FAKERSは今までの自分を変えることができ、逞しく成長できる素晴らしい部活です。応援よろしくお願いたします。



### ■力又一部

去年は、たくさんのお応援ありがとうございました。主な試合成績は、関東大会3位、関東新人戦が2位というものでした。また、高体連外の試合で選抜されて、東京のJISSと韓国で行われた日韓の合同合宿などにも参加しました。今年最後の一年となりますが、フォームの修正など潜力をアップして、さらなる好成績を目指し全力で頑張りたいと思います。



### ■弓道部

弓道部は先輩、後輩、男女関係なく仲が良く、和気あいあいとした部活です。現在3年生12人、2年生22人の計34人

で活動しています。今年も新入部員が多く集まりそうです。昨年度は女子が県大会で団体ベスト8、個人3位入賞を果たしました。今年も関東大会を目指して練習をがんばっていききたいと思います。



### ■剣道部

私たち剣道部は、男子はシード権獲得、女子は関東ベスト8という目標を掲げて、日々格技場で稽古に励んでいます。昨年度、女子が県ベスト8を獲得しましたが、さらに上を目指しています。また、高校から始めた初心者が多いチームは鎌倉高校しかなく、本来であれば県上位を目指すのは大変厳しいことなのです。今年も関東大会が神奈川県で開催される特別な年で

<p>株式会社 ミルススペース 代表取締役 田中 正明 (昭和36年卒) 〒251-0052 藤沢市藤沢973番地 相模プラザ第3ビル6階 TEL: 0466-23-3012 FAX: 0466-26-6509</p>	<p>ミマツ音響株式会社 代表取締役会長 山本 泰弘 (昭和30年卒) 〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-7-3 TEL: 03-3253-6483 FAX: 03-3253-9080</p>
<p>株式会社 ワイエスシー 代表取締役 小泉 稔 (昭和40年卒) 〒220-6213 横浜市西区みなとみらい2-3-5 クイーンズタワーC13F TEL: 045-227-5711 FAX: 045-227-5747</p>	<p>江島神社 宮司 相原 圀彦 (昭和39年卒) 〒251-0032 藤沢市片瀬4-14-21 TEL: 0466-22-4324 FAX: 0466-22-4324</p>
<p>株式会社 林塗装店 代表取締役 林 澄雄 (昭和40年卒) 〒251-0052 藤沢市藤沢576 TEL: 0466-27-1761 TEL: 0466-22-3043</p>	<p>有限会社 東昭産業 代表 松中 芳治 (昭和40年卒) 〒248-0006 鎌倉市小町1-3-5 TEL: 0467-22-1908 FAX: 0467-25-3411</p>



す。一丸となって戦いたいと思えます。応援よろしくお願ひします！



■サッカー部

こんにちは、鎌倉高校サッカー部です。現在、部員数 86 名で活動しています。去年の活動実績は、トーナメントでは思うような結果を残すことはできませんでしたが、リーグ戦では 7 勝 2 分のグループ 2 位の結果を残すことができました。そして、僕達の代になり、今まで先輩たちが培ってきた伝統を守り、新たな歴史を作っていく為に努力を惜しまず、仲間を信じ、自分を信じて



チーム一丸となり励んでいきますので応援よろしくお願ひします。

■水泳部

水泳部は現在 3 年生 9 人、2 年生 13 人の計 22 人で夏は水中、冬は陸上を中心に活動しています。男女や学年の壁はなく、お互いに教え合い、切磋琢磨して練習に励んでいます。昨年度は鎌倉市民大会にて好成績をおさめました。また、湘南地区大会では、男子総合 3 位を獲得しました。本年度も 1 人ひとりが自らの目標を超えられること、関東大会に出場することを目標に頑張ります。応援よろしくお願ひします。



■スキー山岳部

僕たちスキー山岳部は基本的

に週 4 日、海岸を走ったり、筋力トレーニングなどをして体力づくりに励んでいます。そして、月に 1 回程度、主に丹沢で登山をしています。昨年の夏合宿では南アルプスの鳳凰三山(薬師岳・2780m、観音岳・2841m、地藏岳・2764m)に登頂しました。冬期はスキーにも取り組んでいます。現在、部員総数が 2 名と少数なため、今年是新入部員獲得に向け勧誘活動に全力を注ぎたいと思います。



■ソフトボール部

私たちがソフトボール部は 14 名で活動しています。未経験者も多いなか、湘南地区大会では 2 年連続優勝し、県大会では 3 年連続ベスト 16 という結果を残しました。練習環境も整い、OGの方々や保護者の

<p>理事長・園長 <b>山田 誠一</b> (昭和 41 年卒)          学校法人 北鎌倉学園 <b>おおぞら幼稚園</b>          鎌倉市大船 5-10-35 TEL:0467-46-2932 FAX:0467-46-2948  <b>プレップ おおぞら保育園</b> (定員:0歳9名 1歳12名 2歳24名)          鎌倉市大船 4-21-1 TEL:0467-46-1071 FAX:0467-46-1070</p>	<p><b>株式会社 ウェルカム</b>          代表取締役 <b>増田 隆之</b> (昭和 40 年卒)          〒251-0052 藤沢市藤沢 559 角若松ビル          TEL:0466-25-3005 FAX:0466-25-3006</p>
<p><b>総合建設 大沢組</b>          代表 <b>大沢 廣和</b> (昭和 41 年卒)          〒251-0052 藤沢市藤沢 3-2-14          TEL:0466-22-2225 FAX:0466-22-3119</p>	<p><b>鎌倉 山田屋 岡本 治男</b> (昭和 41 年卒)          〒248-0005 鎌倉市雪ノ下 3-8-29          TEL:0467-22-0338 FAX:0467-24-8497          MAIL:mail@kamakura-yamadaya.jp</p>
<p><b>株式会社 イシイフーズ</b>          代表取締役 <b>石井 英樹</b> (昭和 43 年卒)          〒251-0047 藤沢市辻堂 1-8-29          TEL:0466-34-7072 FAX:0466-34-7072</p>	<p><b>株式会社 齋藤商店</b>          代表取締役 <b>齋藤 光久</b> (昭和 42 年卒)          〒251-0037 藤沢市鶴沼海岸 3-1-7          TEL:0466-36-3188 FAX:0466-33-3380</p>

方々などの多くの方に支えられて、日々練習に励んでいます。今年は神奈川県上位を目指し、チーム一丸となって頑張りますので、応援よろしくお願ひします。



■卓球部

鎌倉高校卓球部は、体育館2階の専用卓球場を使い、今年度の目標である「県大会への出場」を目指して、日々練習に励んでいます。昨年度は、部員1名という危機的な状況もありましたが、コーチの方のご協力もあり、現在では部員6名と、団体戦に出場できるチームを創り上げることができました。先輩方や顧問の先生、保護者の方々に感謝しつつ、強く楽しい卓球部を今

後も部員全員の手で守り続けていきたいと思ひます。

■体操部

体操部は、3年3人、2年生6人、1年生2人の計11人で活動しています。みんな仲良く時には厳しく練習に取り組んでいます。よくOB、OGの先輩方が来てくださり、いろいろな技を教えてくださいます。去年は大会に出てたくさん表彰されました。今年もそれぞれの目標に向かって頑張っています。



■ダンス部

ダンス部は現在45人で活動しています。昨年度はチャダンスや県新人コンクールへの参加といった従来の活動に加えて、様々なダンスコンテストにも積極的に挑戦してきました。3月のダンススタジアム新人戦東日本大会では、工事現場の作業員をモチーフにした作品を発表し、ベストスマイル賞をいただきました。今年度もよりよい作品を発表できるよう頑張りますので、応援よろしくお願ひします。



■男子硬式テニス部

男子硬式テニス部の活動日は月、火、木、土です。平日は16:00から2時間半、土曜日は4時間と時間を決めて集

<p>株式会社 湘南薬品 代表取締役 曾我 壽裕 (昭和44年卒) 〒251-0025 藤沢市鶴沼石上2-1-17 TEL: 0466-26-3336 FAX: 0466-26-6723</p>	<p>フライスター株式会社 代表取締役社長 関 全男 (昭和43年卒) 〒222-0033 横浜市港北区新横浜3-6-1 TEL: 045-470-0330 FAX: 045-474-3768</p>
<p>ダスキン メリーメイド藤沢南店 鈴木 勝貴 (昭和45年卒) 〒251-0056 藤沢市羽鳥4-12-33 フリーダイヤル: 0120-460-770 http://www.shonanfujisawa.com/~mm.fujisawaminami/</p>	<p>株式会社 小池 造園 代表取締役 小池 一彦 (昭和45年卒) 〒251-0004 藤沢市藤が岡2-9-5 TEL: 0466-22-5550 FAX: 0466-24-4295</p>
<p>渡辺啓二税理士事務所 税理士 渡辺 啓二 (昭和46年卒) 〒251-0035 藤沢市片瀬海岸3-19-20 TEL: 0466-21-8150 FAX: 0466-21-8151</p>	<p>鈴木運輸株式会社 代表取締役 鈴木 勝貴 (昭和45年卒) 〒251-0056 藤沢市羽鳥4-13-33 TEL: 0466-34-1118 FAX: 0466-34-1119 E-mail: katutaka@szki-ex.co.jp http://www.szki-ex.co.jp</p>

中して練習し、試合に臨んでいます。大会で結果を出せるように、先輩方を目標にして日々努力しています。これからも応援よろしくお願いします。

■女子硬式テニス部

みんな個性があつて仲が良く、毎日笑顔が絶えないです。やるときはやると互いに切磋琢磨しながら練習に励んでいます。顧問の先生やコーチ、卒業生の方々と周囲の人々に恵まれているので、感謝の気持ちを忘れずに、県大会に向けてよりいっそう練習に励みたいと思います。応援よろしくお願いします。



■バドミントン部

私たちは、男女計40人で、互いに競い合いながら日々活動しています。女子は、2年連続となる関東大会出場を果たしました。男子は、夏季大会・新人戦と湘南地区で団体4位という結果を残しました。個人戦も県大会に出場はしましたが、県大会では結果が残せなかったのが、今年地区大会では優勝、県大会ではベスト8を目標として頑張ります。ここまでバドミントン部が代々結果を残すことができるのは、チーム一丸となつて切磋琢磨していることはもちろんですが、OB・OGの方が部活に来てくれたり、試合の応援に駆けつけてくれたり、シャトルの提供をしてくれたりと支えてもらっているお陰だと思つています。たくさんの方が支えてくれているからこそバドミントンができることに感謝して、今年の春も団体で関東大会出

場ができるようチーム一同頑張りたいと思います。

■男子バレーボール部

こんにちは！男子バレーボール部です。私たちは現在、選手が3年生7人、2年生7人、マネージャーが2年に3人、計17人で活動しています。顧問の先生、コーチに教えを受けながら、部員全員で日々切磋琢磨し、充実した活動を行っています。応援、よろしくお願いします！



■女子バレーボール部

私たち女子バレーボール部は3年生4人、2年生6人の計10人と新入生を迎えて、週に5日から6日活動していま

<p>しらすと地魚料理・旅館 かきや(腰越電車通り)          代表取締役 戸倉 孝二(昭和50年卒)          〒248-0033 鎌倉市腰越3-7-24 http://ishonan.com/kakiya          TEL: 0467-32-4828 FAX: 0467-32-4180</p>	<p>有限会社 成勢商店          成勢 啓一(昭和48年卒)          〒252-0816 藤沢市遠藤2480          TEL: 0466-87-0021 TEL: 0466-87-0023</p>
<p>株式会社 水落建設          代表取締役 水落 雄一(昭和51年卒)          〒251-0015 藤沢市川名801          TEL: 0466-26-1601 FAX: 0466-23-6019</p>	<p>有限会社 立花屋          代表取締役 叢 秀樹(昭和51年卒)          〒251-0055 藤沢市南藤沢2-1-3 ダイヤモンドビル内          TEL: 0466-22-2373 FAX: 0466-22-2373</p>
<p>市川宝石店 ICHIKAWA          価値ある逸品もかけがえない一品も          ⇒リフォーム&amp;リペアお任せください          〒251-0055 藤沢市南藤沢2-1-1フジサワ名店ビル2F tel:0466-26-3870 fax:0466-26-8390</p> <p>株式会社 湘南セールスプロモーション          櫻井 淳 青野 久美(昭和55年卒)          〒251-0025 藤沢市鶴沼石上1-8-10-101          TEL: 0466-25-1035 http://shonansp.com</p>	

す。昨年度は県大会に出場することができませんでしたが、みんな日々一生懸命練習に取り組んでいます。人数は多くないですが、新3年生は残り少ない時間を大切に、良い成績を残せるよう努力していきますので、応援よろしくお祈りします。



■男子ハンドボール部

平成27年度の男子ハンドボール部は、夏の湘南地区大会で3位、秋の県新人戦ではベスト16入りを果たすことができました。今年度から新しい顧問の先生を迎え、現在29名の部員で活動しています。県ベスト16入りを目標に、チーム一丸となって努力しています。

す。私たちが支えてくださるOBの方や保護者の方への感謝の気持ちを忘れず、これからも頑張っていきます。応援よろしくお祈りします。

■女子ハンドボール部

私たち女子ハンドボール部はプレーヤー11名、マネージャー2名の計13名で活動しています。この1年は先輩や経験者がほとんどいないなか、周りの方々に支えられてハンドボールを楽しむことができました。これからも県ベスト16を目指してチーム一同精一杯頑張りますので応援よろしくお祈りいたします。



■男子バスケットボール部

3年生12人、2年生11人の計23人と新入生を迎えて、週に

6日活動しています。県大会に出場して勝利する事を目標に、練習に取り組んできました。昨年度は残念ながら県大会出場を逃しましたが、チームのスローガンは「臥薪嘗胆」、三年生の集大成となる総体予選では目標を達成すべく、これまでの悔しさを胸にチーム一丸となって日々鍛錬しています。応援よろしくお祈りします。

■女子バスケットボール部

私たち女子バスケットボール部は3年生5人・2年生1人・1年生8人計14人で活動しています。まずは秋の新人戦で県大会出場を果たし、翌春の



<p>有限会社 国分屋 代表取締役 飯田 圭太 (昭和60年卒) 〒252-0816 藤沢市遠藤728番地の7 TEL : 0466-87-8832 FAX : 0466-87-8836 http://www.kokubuya.com</p>	<p>司法書士法人 湘南リーガルオフィス 司法書士 石田 宏治 (昭和58年卒) 〒251-0052 藤沢市藤沢1027番地2 TEL : 0466-27-7505 FAX : 0466-27-6966</p>
<p>セントラルモータープール 代表 田中 重光 (昭和61年卒) 〒251-0035 藤沢市片瀬海岸1-11-13 TEL : 0466-28-7311</p>	<p>日本精麦株式会社 代表取締役 田中 重光 (昭和61年卒) 〒253-0114 高座郡寒川町田端1590-5 TEL : 0467-72-3620 FAX : 0467-74-2002</p>
<p>株式会社 伊沢工務店 代表取締役 伊沢 孝次 (昭和62年卒) 〒252-0816 藤沢市石川3-19-22 TEL : 0466-88-0380 FAX : 0466-88-0391 E-mail:izaizal128@me.com http://www.e-house.co.jp/izawa-koututen/</p>	<p>市島徹社会保険労務士事務所 代表 市島 徹 (昭和62年卒) 〒251-0037 藤沢市鶴沼海岸1-8-20 TEL : 0466-37-0071 http://www.ichijima-labor.com/</p>

関東大会・総体においても西支部を代表して県で活躍できるように日々頑張つていきます。「笑顔」を忘れずに「女バスっていいね!」をモットーに文武両道の精神を貫きます。

■フエンシング部

ひとりで校外練習に通う活動も三年目、最後の年になりました。昨年度は関東大会ベスト8、県新人大会優勝などの成績を残したものの、インターハイ予選では、あと一歩のところまで悔しい思いをしました。その悔しさをばねに、今年こそはインターハイに出場し、昨年以上の成績を残して、有終の美を飾れるように頑張ります。応援よろしくお願ひします。



■野球部

私たち野球部は、週末に練習試合を行い、そこで明らかになった問題や課題をもとに、選手が自主的に練習メニューを考えて、平日の練習を実施しております。また、本年度より週2回のウエイトトレーニングを取り入れることで、体力の向上にも取り組んでおります。昨年の大会では2回戦で敗退を喫しましたが、その壁を乗り越えられるよう、大会に向けて日々練習に精進して参ります。



■陸上競技部

陸上部は、一人ひとりが自分の記録を更新するために、目標を持って一生懸命練習しています。昨年、女子は

県高校駅伝大会に出場し、さらには男女とも鎌倉市駅伝大会に出場しました。また個人では、湘南大会において入賞したり、県大会出場を果たすことができました。来年度は、団体種目だけでなく、個人種目でも県大会に出場できるように頑張りたいと思います。

県高校駅伝大会に出場し、さらには男女とも鎌倉市駅伝大会に出場しました。また個人では、湘南大会において入賞したり、県大会出場を果たすことができました。来年度は、団体種目だけでなく、個人種目でも県大会に出場できるように頑張りたいと思います。



●●●文化部

■茶道部

今年度は1年生が女子6名も入部してくれまして、茶道部はさらに賑やかになりそうです。部員が大勢いると自分がお手前している時にたくさんのお目で見てもらえますし、また、人のお手前をたくさん見ることができるととてもよい刺激になります。いろいろな



<p>株式会社 ヤベ自動車工業          代表取締役 矢部 康博 (平成元年卒)          〒252-0815 藤沢市石川6-1-1          TEL: 0466-87-5252 FAX: 0466-87-5256          E-mail: ybtokki@yabe-motors.co.jp http://www.yabe-motors.co.jp</p>
<p>株式会社 重田工芸          代表取締役 重田 博章 (平成元年卒)          〒252-0816 藤沢市遠藤298-6          TEL: 0466-88-6880 http://www.shigeta-kougei.com</p>
<p>広瀬硝子建材株式会社          代表取締役 広瀬 俊明 (平成5年卒)          〒251-0032 藤沢市片瀬2-16-29          TEL: 0466-22-6605 FAX: 0466-23-6994          E-mail: hirose25@apricot.ocn.ne.jp http://www.hirose-glass.com</p>

お茶会にも参加させていただきました。今年度は小文化祭で、部員一同先輩方のお越しをお待ちしています。部員たちで積極的に活動し、茶道部を盛り上げて行きたいです。



■室内楽部

私たち室内楽部は3年生5名、2年生3名の計8名で活動しています。福祉施設への訪問演奏や定期演奏会に向け、演奏技術を高めるために、個人で練習をしたり合奏をしたりしています。現在、フルート1名、ヴァイオリン2名、ヴィオラ3名、ホルン



1名、チェロ1名で演奏をしています。新1年生を迎え、さらに多くの場で演奏をしていきたいと思っています。まずは目指せ！部員10名以上！！

■吹奏楽部

昨年度は、県南吹奏楽コンクールにて金賞を受賞し念願の県大会出場を果たしました。アンサンブル県南大会ではクラリネット四重奏・サクソ五重奏がコンテスト部門で金賞受賞、打楽器四重奏・金管八重奏がフェスティバル部門出場、その他腰越みなどまつり、テレジア病院訪問演奏、義経まつりパレード出演など地域に根ざした活動も続



けています。今年も定期演奏会(3月予定)に向けてがんばります。応援よろしくお願ひします！

■美術部

私たちは昨年、恒例の「鈴木病院文化祭」での展示だけでなく、神奈川県高等学校美術展にも出品参加しました。また、地区の交通安全のポスターに応募したり精力的に、兼部率が高い中活動しています。また、今年も例年以上に、一人一人頑張つて作品を制作していきます。今までよりパワーアップした美術部をお見せしたいと思います。



● ● ● 同好会 ● ● ●

■演劇同好会

現在の演劇同好会は、平成27年7月に発足したばかりの、全く新しい同好会です。昨年度は、後夜祭で殺陣を発表したり、中学校を訪問して、警察の方と非行防止教室を行ったりしました。今年度以降は、地区大会への出場、そして全国大会への出場を最大の目標としています。随時、入会受付中です。まだ発足して間もないため、卒業生の方々が顧問の先生方のご支援ご協力を必要としています。よろしくお願ひします。



■ 科学研究会

古代製鉄法「たたら製鉄」の研究に取り組んでいます。当初は奥出雲地方の砂鉄を使用していましたが、古代の鎌倉たたら製鉄を再現するために稲村ガ崎の砂鉄を材料にするようにしました。すると、まったく鉄ができない結果となり、この原因こそが、鎌倉たたら製鉄の衰退につながったのではないかと仮説を立てて研究を進めています。研究成果は2年連続神奈川県知事賞および日本学生科学賞入選1等を受賞しました。



■ KBS 同好会

お昼休みの放送をはじめ、校内の放送活動をしています。昨年の文化祭ではダンス部の発表や後夜祭での音響や照明

など、行事を支えました。また、放送の大会出場、冬の泊合宿にも参加しました。今年もつと鎌高生に楽しんで

もらえるような放送を企画し、また個人の放送技術の向上にも力を注いでいきたいです。



■ 合唱同好会 (g e e)

昨年同好会から部活動に昇格し、充実した1年間になりました。新入生歓迎会に始まり、夏とクリスマス在校内コンサート、高齢者施設での訪問演奏、七里ヶ浜自治会の納涼祭、横浜大栈橋「くじらのおなかアフタヌーンコンサート」での発表と校外での活動を増やしてきました。たくさんの方々から温かい応援の拍手に力もらいました。今年により多くの新入部員を迎え、さらに活動の幅を広

げていくことを目標に頑張ります。



■ 日本語の歌を歌う会 (日歌会)

日歌会は近年、校内での活動に加え、他校との合同liveを多数行うなど活動が活発になってきました。そんな中、大会への参加を含め今後さらに活動を充実させるべく、今年から部活動へ昇格し、軽音



● ● ● 生徒会執行部 ● ● ●

楽部として活動することが決定しました。日歌会は今まで伝統を残しつつ新しく生まれ変わり、前進していきます！

私たち生徒会執行部は、今年度「move！生徒会！」をテーマに去年より多くの活動を行いました。行事の運営を中心に、部活動予算や四校連携、体育祭・文化祭の隔年実施の廃止なども検討しました。また、来年からは「インターアクトクラブ」への参加も決意し、来年度はさらに「move！」していこうと思います。



大 学 名	合 現	
	合	現
東京女子大	3	3
東京造形大	1	1
東京電機大	11	8
東京都市大	24	20
東京農大	15	14
東京理大	22	11
東邦大	1	1
東洋英和女学大	3	3
東洋大	20	15
日赤看護大	1	1
日本獣医生命大	2	1
日本女子大	6	6
日本体育大	1	1
日本大	54	42
武蔵野美大	3	3
文教大	1	1
法政大	82	71
北里大	17	14
麻布大	4	3
明治学院大	43	42
明治大	62	48
明治薬大	1	1
明星大	1	1
立教大	46	42
獨協大	2	2
<b>私立大学合計</b>	<b>689</b>	<b>585</b>
<b>文部省所管外</b>		
海上保安学校	1	1
海上保安大学校	1	1
<b>公立短期大学</b>		
<b>私立短期大学</b>		
帝京短大	1	1
<b>その他</b>		
専門学校	6	5
公務員	1	1

大 学 名	合 現	
	合	現
鎌倉女子大	3	3
関東学院大	6	6
神田外語大	1	1
岐阜医療科学大	1	1
玉川大	3	2
駒沢女子大学	1	1
駒澤大	17	16
慶応大	11	9
工学院大	6	5
国学院大	6	5
国際医療福祉大	2	2
国士舘大	3	3
桜美林大	1	1
産業能率大	3	3
実践女子大	1	1
芝浦工大	12	8
昭和女子大	1	1
昭和大大	1	1
湘南工科大	2	2
上智大	8	7
神奈川工科大	6	6
神奈川大	20	17
成城大	9	8
成蹊大	7	5
星薬大	1	1
青山学院大	33	30
専修大	12	11
早稲田大	24	19
多摩美大	2	2
大妻女子大	1	1
大東文化大	1	1
拓殖大	1	1
中央大	26	23
中京大	1	1
帝京大	3	2
帝京平成大	1	1
東海大	21	16
東京音大	1	1
東京経大	1	1
東京工科大	7	7

大 学 名	合 現	
	合	現
<b>国立大学</b>		
北海道大	3	2
岩手大	1	1
筑波大	3	3
埼玉大	1	1
千葉大	1	
電気通信大	3	3
東京医科歯科大	1	1
東京海洋大	1	1
東京外大	1	1
東京芸大	2	2
横浜国立大	9	7
山梨大	1	1
京都大	1	
広島大	1	
島根大	1	
鳥取大	1	
徳島大	1	1
東京工業大	3	
九州大	1	
宮崎大	1	1
<b>国立大学合計</b>	<b>37</b>	<b>25</b>
<b>公立大学</b>		
秋田県立大	1	1
首都大東京	5	4
横浜市立大	7	7
神奈川保福大	2	2
静岡県立大	1	
都留文科大	1	1
北九州市立大	1	1
<b>公立大学合計</b>	<b>18</b>	<b>16</b>
<b>私立大学</b>		
フェリス女大	2	2
杏林大	3	3
横浜薬大	2	1
岡山理大	1	1
学習院女子大	1	1
学習院大	12	12

平成28(2016)年度 大学別合格者数

(注) 合は合計数 現は現役生の数です。

※ このデータは平成28年3月31日締めのもので、今後変動する場合があります。



<収入の部>

項 目	予算額 a	決算額 b	増減額 b - a
繰越金	3,066,432	3,066,432	0
67 回入会金	1,400,000	1,395,000	▲ 5,000
利 息	500	327	▲ 173
協 賛 金	3,600,000	3,858,416	258,416
寄 付	0	70,000	70,000
<b>合 計</b>	<b>8,066,932</b>	<b>8,390,175</b>	<b>323,243</b>

- \* 協賛金のうち広告費 170,000 円
- \* 収入 - 支出 = 平成 28 (2016) 年度へ繰越  
8,390,175 - 6,234,413 = 2,155,762
- \* 繰越金内訳 横浜銀行 1,519,650  
ゆうちょ銀行 636,112
- \* 寄付金内訳 1. 総会懇親会残金  
2. S42 卒 関出氏  
3. S45 卒 金澤明氏

<特別会計 (周年行事積立金)>

繰越金	1,180,716
積立金	200,000
寄 付	0
利 息	189
<b>合 計</b>	<b>1,380,905</b>

(平成 28 年度へ繰り越し)

<支出の部>

項 目	予算額 a	決算額 b	増減額 b - a
会 議 費	0	0	0
会 報 費	3,000,000	3,127,307	127,307
通 信 費	250,000	276,506	26,506
部活動補助	300,000	152,000	▲ 148,000
卒業記念品	210,000	215,364	5,364
設備整備費	250,000	0	▲ 250,000
交 通 費	50,000	0	▲ 50,000
事 業 費	200,000	80,000	▲ 120,000
部室等補修費	2,800,000	2,155,268	▲ 644,732
雑 費	30,000	27,968	▲ 2,032
周年行事積立金	200,000	200,000	0
予 備 費	776,932	0	▲ 776,932
<b>合 計</b>	<b>8,066,932</b>	<b>6,234,413</b>	<b>▲ 1,832,519</b>

会計監査の結果、  
上記の通りであることを報告します。

会計監査 富田 達

平成  
27 年度  
決算報告

<収入の部>

項 目	予算額 a	前年度 予算額 b	増減額 a - b
繰越金	2,155,762	3,066,432	▲ 910,670
入 会 金	1,370,000	1,400,000	▲ 30,000
利 息	500	500	0
協 賛 金	3,500,000	3,600,000	▲ 100,000
寄 付	100,000	0	100,000
<b>合 計</b>	<b>7,126,262</b>	<b>8,066,932</b>	<b>▲ 940,670</b>

<特別会計 (周年行事積立金)>

<収入の部>

項 目	予算額 a	前年度 予算額 b	増減額 a - b
繰越金	1,380,905	1,180,716	200,189
積立金	200,000	200,000	0
寄 付			0
利 息	200	189	11
<b>合 計</b>	<b>1,581,105</b>	<b>1,380,905</b>	<b>200,200</b>

<支出の部>

項 目	予算額 a	前年度 予算額 b	増減額 a - b
会 議 費		0	0
会 報 費	3,200,000	3,000,000	200,000
通 信 費	300,000	250,000	50,000
部活動補助	300,000	300,000	0
卒業記念品	200,000	210,000	▲ 10,000
設備整備費	0	250,000	▲ 250,000
交 通 費	50,000	50,000	0
事 業 費	200,000	200,000	0
部室等補修費	2,500,000	2,800,000	▲ 300,000
雑 費	30,000	30,000	0
周年行事積立金	200,000	200,000	0
予 備 費	0	776,932	▲ 776,932
<b>合 計</b>	<b>6,980,000</b>	<b>8,066,932</b>	<b>▲ 1,086,932</b>

備 考

- 会 報 費：「うしお」印刷費用、送料
- 通 信 費：電話代、ホームページ管理費用、OCN利用料、切手代
- 部活動補助：関東大会、全国大会出場祝い
- 交 通 費：ボランティア交通費
- 事 業 費：同窓会応援金
- 雑 費：事務所経費

平成  
28 年度  
収支予算(案)

※平成 27 年度会計決算報告及び平成 28 年度会計予算は、平成 28 年 7 月 2 日に開催されるうしお会総会において審議されるものです。尚、審議の結果修正された場合は、同窓会ホームページでお知らせ致します。

協賛金納入者

2015年4月1日(2016年3月31日)

納入件数：1,230件

納入金額：3,858,416円  
ご協力ありがとうございました。

- 徳永みや子 天都力子 横山葉子 S16 永塚キ 大手良枝 重政留野幸 S15 馬飼野幸 S14 安藤政江 S13 吉野正子 鈴木信子 S12 齊藤元子 S10 鈴木ソノ S9 藤定武夫 増田しず江 佐藤島猛 福嶋一男 小嶋藤井進 伊藤井博 福井井三 丸谷禮子 井出真理子 山村正英 荒木高司 吉野恒一 鈴木木雄 浜本國雄 旧職員
- 林恵子 S24 金子登子 加藤節子 小出由美子 S23 細川ゆみ子 猪熊勢子 S22 堀場きみ子 三田村茜子 高橋照子 後藤節子 S21 萩美枝子 土屋雍子 上嶋妙子 S20 齊藤八重子 秋山野久子 大東昌子 S19 日置春江 榎本松枝 遠藤俊枝 柿沼ト女 須藤田鶴 S18 倉多貢子 高橋貢子 S17 堀内昌智子 宗内尾
- 山ノ井弘子 松葉玲子 小野光子 磯野正子 菅野清子 森戸朝子 樋口京子 内海小夜子 武藤多美子 清水延子 中里須美子 門田文宏 時山静子 小島敦子 小島幸子 磯部洋子 後藤根智子 塚原道子 S28 鈴木雅子 今井幸子 添田伊津子 北村基子 河合八千子 太田從子 S27 林道子 荒井末子 清水久子 S26 君塚節子 新行内美代子
- 齊藤敏夫 工藤弘道 神谷達夫 林昭一 中村育子 青木玲子 新井豊子 青木武健 丸山弘子 山室芳江 甘粕悠枝 栗原初子 大原美子 吉岡テール 高岡勝子 金山順子 高橋佳枝 鈴木久美子 河島マツ子 中瀬幸江 村瀬多子 添井久枝 高橋智子 梅沢英子 村井英子 小田ツネ子 藤澤美子 田中照康 S29 柳下みどり 太田絹子 桐生宣子 井上朝雄 恩上平八 S30 福田寛子 熊岡恵子 坪水智恵子
- 中嶋守 辻川勝守 河端勝子 山田秀夫 小澤徹彦 塚田公郎 松原路美 S31 永田美代子 秋田史子 森田洋史 成田泰弘 山本純子 金子富美子 和地忠彦 松岡美津子 長岡三和子 藤原三雄子 佐川嘉久子 吉野重子 河野園子 佐藤悦智子 讀井智夫 齊藤智夫 池田富智 大塚崇史 大井正彦 中谷正彦 桐生宣彦 井上朝雄 恩上平八 S30 福田寛子
- 佐藤恵子 四田八願子 藤田邦彦 原田孝子 高田節子 戸田孝子 内田志津子 猪股一之 宮田君之 深井淳之 池上篤弘 寺田幸弘 森田宗之 高橋乃 S32 金子充乃 瀨尾トシ子 松居宥久子 丸山紀幸子 峯尾幸信 足立美弘 八木勝江 川口美智子 佐原啓朗 安齊一清 柴田武彦 野村英彦 柴田昇一 竹田嘉孝 矢野一孝 関山祥子 梶山良子 井ノ口忠男 野沢良子
- 小泉寛治 中浜武彦 住藤忠久 内藤美久 S34 西村健二 大川登志江 松本多喜子 堀川貞子 府川克己 茶木路子 菊地明子 古山ミヤ子 宮上ヤ子 杉山洋子 森川紀子 森田智子 増井靖子 石井久子 金井美智子 杉山美智子 堀中秀夫 河野安夫 S33 嶋孝氏 高橋君氏 川口浩之 石渡教之 坊城弘幸 西渡義教 勝又治 廣田照幸 加田優平 北藤典二
- 水島規夫 前澤不二 奴田孝夫 石澤氏 家田明子 原泉正 小尾一正 仁尾敦信 鈴柳周信 青木祐信 恩田俊治 藤尾勇治 若菜壁に 眞井乃 堀井一 加藤鎮一 富田鎮一 舟木敏子 近藤敏子 岩川皓安 石井園 奥山通子 更級至子 小松隆子 磯部大 伊藤康子 広藤守 西村邦子 勝又治 廣田照幸 加田優平 北藤典二
- 森田昭男 関根正明 田中丈夫 浜村義基 仲原泰徳 栗塚康徳 大谷孝雄 S36 高橋嘉隆 永倉隆光 城藤清 加藤大 小勝維子 勝木敏子 福田信子 森林良子 今福文隆 菜木敏明 藤井啓明 久保寺清 脇坂正彦 S35 菊地洋二 和知弘二 木下輝司 三村輝彦 橋爪正義 大倉みど 井関ど 大井山 尾山英二







## 平成28年度総会 & 懇親会のお知らせ

昨年も総会、懇親会を行い、幅広い年代の多くの方にご参加いただき楽しく過ごすことが出来ました。

本年も、以下の通り総会 & 懇親会を行います。多くの方にご参加いただき、新しいうしお会の方向を話し合いましょう。懇親会バーベキューには、今回も、多くの方々にご参加いただきたくご案内申し上げます。ご家族、お子様をお連れになってのご参加も歓迎いたします。

### ■ 平成28年度総会 ■

以下の日程で行われます。

日 時：平成28年7月2日(土) 11:00~12:00

場 所：神奈川県立鎌倉高校国際理解ホール  
(旧図書館の場所)

対 象：うしお会会員（鎌倉高校卒業生）  
でしたらどなたでも

議 事：(1) 平成27年度事業報告について  
(2) 平成27年度会計決算報告について  
(3) 平成27年度会計監査報告について  
(4) 平成28年度事業計画案について  
(5) 平成28年度会計予算案について  
(6) 平成28年度・平成29年度  
役員について  
(7) その他



写真は昨年6月の様子

## うしお会 懇親バーベキュー大会のご案内

今年度も、総会終了後、懇親会を開催します。晴天ならば屋外でバーベキューを行います。年齢を超えた先輩後輩の親睦を深めましょう!!

日 時：平成28年7月2日(土) 総会終了後12:30頃から

場 所：神奈川県立鎌倉高校国際理解ホール前の中庭（雨天の場合はホール内）

対 象：うしお会会員（鎌倉高校卒業生）でしたらどなたでもご出席いただきたく存じます。  
また、ご家族の皆様もお連れ下さい。

参加費：1,000円（小学生以下無料）

申込み：うしお会のホームページよりメールフォームまたはファックスにてお申し込み下さい。



昨年6月の記念撮影

### 役員役割分担

- 会長 鈴木勝貴 (S45年卒) 総括
- 副会長 増田隆之 (S40年卒) 総務担当
- 副会長 森田豊文 (S41年卒) 会報担当
- 副会長 深澤隆史 (S41年卒) 会計担当
- 書記 高橋建二 (S46年卒) 総務(運営担当)
- 書記 堀英彦 (S46年卒) 総務(名簿担当)
- 書記 渡辺晃 (S47年卒) 総務
- 書記 峰治 (S56年卒) 総務
- 書記 渡邊葉子 (S62年卒) 総務
- 書記 新田尚 (S62年卒) 会報
- 書記 桜井淳 (S55年卒) ホムページ
- 書記 奥蘭千栄子 (S48年卒) 会報
- 書記 富田朝子 (S49年卒) 会報
- 書記 叢秀樹 (S51年卒) 会報
- 書記 石橋淳 (S51年卒) 会報
- 書記 田川由佳 (S54年卒) 会報
- 書記 安井弘子 (H4年卒) 会報
- 書記 梅津美葉 (H5年卒) 会報

会計 新居正雄 (S41年卒)  
 会計監査 富田達 (S41年卒)  
 顧問 滝沢茂男 (S41年卒)  
 ※役員役割分担は、平成28年7月2日に開催されるうしお会総会において審議されるものです。  
 尚、審議の結果修正された場合は、同窓会 ホームページでお知らせ致します。

### 学校側役員

- 校長 真壁広道
- 副校長 石川雅之
- 教頭 田中和也
- 総括教諭 原慎二
- 教諭 小暮博道

## 「みんなで作ろううしお」…投稿・ご意見募集!!…

同窓会「うしお会」は、県立鎌倉高校を卒業した方なら、卒業と同時にめれなく会員となっており、ます。在学中、楽しかった人も、楽しくなかった人も、卒業後は新たな世代を超えた先輩・後輩・同輩との交流ができることと思います。世代は違っても、鎌高らしい自由でユーモアあふれる仲間と、同窓会「うしお会」を通してリンク(つながって)していきましよう!!  
 会では、会報誌「うしお」や同

### 編集後記

会報誌「うしお」も今回で発行が35回になります。「うしお」に原稿を投稿してください。た方々には感謝しております。部数も増えてより多くの方々に読んでもらっていますが、依然住所不明での戻りも多いのが現状です。会報の中でも、会報誌「うしお」編集者からのお願いで皆様に呼び掛けをしますが、今後は新聞にも載せて皆様の最新の情報を入手する事を考えております。

窓会ホームページをもっと沢山の方々に利用し、楽しみ、仲間の輪を広げていただきたいと思っております。  
 そこで、「みんなで作ろううしお」と題して、投稿やご意見を募集しております。同窓会でこんな行事してほしい。(講演会、合唱コンクール!?!:etc)活躍する鎌高卒業生、鎌高卒の有名人、鎌高卒の方のお店紹介。私こんなことやってます。是非見て、聞

### ❖ 広告募集 ❖

会報「うしお」の広告を募集しております。厳しい経済環境ではありますが、会員皆様のより一層のご協力とご理解を、お願い申し上げる次第です。

- 料金 / 一枠 : 10,000円
- お問い合わせ先 : うしお会 広告事務局  
 ☎ 0466-25-1035  
 ✉ pet@toretate-shonan.com

いて…等など。こんな記事があったら、こんなコーナーがあったら盛り上がるよ、というような事ありましたら同窓会までお知らせください。お待ちしております。  
 県立鎌倉高校同窓会「うしお会」事務局  
 メール :  
 Email:kamakako@ceres.ocn.ne.jp  
 Fax : 〇四六七-三九一三六六八  
 ホームページアドレス :  
 http://www.ushiokai.net.

## インターネットでどんどん拡がる「うしお会」

<http://ushiokai.net>

うしお会

で検索!

会報誌「うしお」のウェブ配信はもちろん、同窓会情報など多くの同窓生にとって、いつも新しい情報が掲載されていて、アクセスするのが楽しいホームページです。

### ポイント!!

1. 会報誌「うしお」が配信されています。
2. 住所が変わった方から簡単にご報告いただけます。
3. 各年代で行われる、または行われた同窓会情報をご覧いただけます。
4. 同窓会情報のページはインターネット上で情報交換が可能です。
5. 鎌高公式サイトの最新情報も自動的に更新されます。
6. facebook でも「うしお会」仲間がグループを作って情報交換中です!  
facebook を楽しんでいる人達の間で自然発生的に出来上がった「鎌高 OB・OG の facebook のグループ」には現在約 160 人超のうしお会の会員が参加しています。  
ここでは日々の鎌高 OG、OG の活躍の話題などが情報交換され、そして年代を超えたソーシャルネットワーク上のコミュニケーションが行われています。  
「友達を検索」してみてください!!

## うしお会事務局のボランティアを募集しています!

E-mail: [kamako@ceres.ocn.ne.jp](mailto:kamako@ceres.ocn.ne.jp)

<<mailto:kamako@ceres.ocn.ne.jp>>



発行所  
二〇一六(平成28)年  
五月三〇日

発行所  
神奈川県立  
鎌倉高等学校・同窓会  
鎌倉市七里ヶ浜 潮会  
二一二十一ー一  
二〇四六七  
三三一四八五一  
事務局直通  
(TEL/FAX)  
〇四六七  
三九一三六六八



<http://www.ushiokai.net>  
E-mail: [kamako@ceres.ocn.ne.jp](mailto:kamako@ceres.ocn.ne.jp)

お名前とメールアドレスをご連絡ください。  
事務局からご招待のメールをお送りいたします。